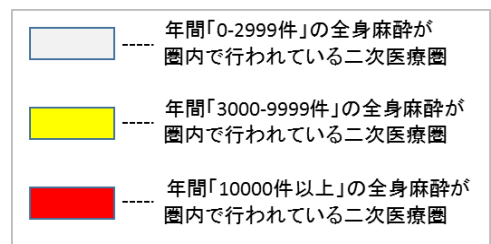
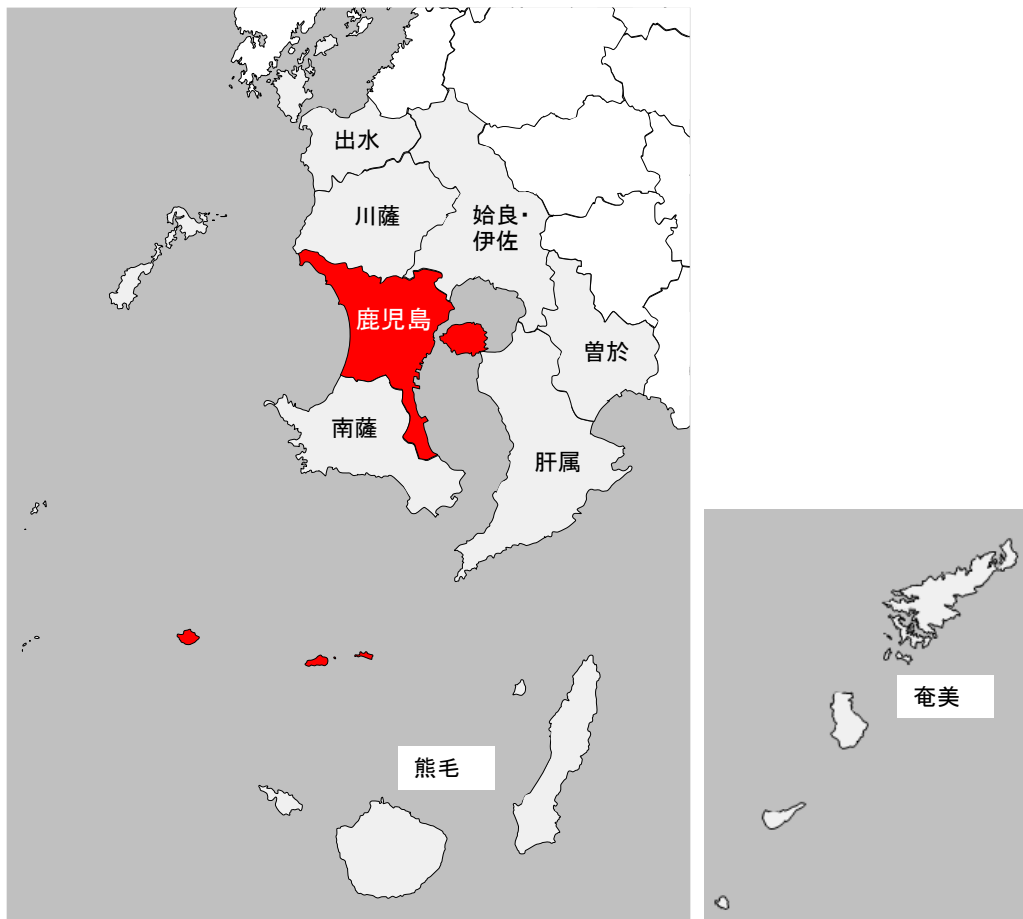


46. 鹿児島県



目次

鹿児島県	46	-	3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料	46	-	7
1. 鹿児島医療圏	46	-	24
2. 南薩医療圏	46	-	28
3. 川薩医療圏	46	-	32
4. 出水医療圏	46	-	36
5. 始良・伊佐医療圏	46	-	40
6. 曾於医療圏	46	-	44
7. 肝属医療圏	46	-	48
8. 熊毛医療圏	46	-	52
9. 奄美医療圏	46	-	56

46. 鹿児島県

(鹿児島県) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 鹿児島県は、総人口約1,588千人(2020年)、面積9,187km²、人口密度は173人/km²である。

*人口の将来予測： 鹿児島県の総人口は2030年に1,437千人へと減少し(2020年比-10%)、2045年に1,204千人へと減少する(2030年比-16%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2020年の267千人が、2030年にかけて321千人へと増加し(2020年比+20%)、2045年には305千人へと減少する(2030年比-16%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 鹿児島県の一人当たり医療費(国保)は452千円(偏差値68)、介護給付費は289千円(偏差値58)であり、医療費は非常に高く、介護給付費は高い。

【医療の現状】

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が55(病院医師数56、診療所医師数50)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、病院医師数は多い。総看護師数の偏差値は69と非常に多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は62で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は53とやや多い。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は62と療養病床数は多い。

*リハビリの現状： 療法士総数は偏差値69と非常に多く、回復期病床数は偏差値64と多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は65で精神病床数は多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は52で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 鹿児島県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、28,531人(75歳以上1,000人当たりの偏差値56)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が18,594床(偏差値60)、高齢者住宅等が9,937床(偏差値47)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、23,530人(75歳以上1,000人当たりの偏差値63)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設57、特別養護老人ホーム58、介護療養型医療施設48、介護医療院55、有料老人ホーム41、軽費ホーム46、グループホーム67、サ高住43である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値55とやや多く、在宅療養支援病院は偏差値67と非常に多い。また、訪問看護ステーションは偏差値54とやや多い。介護職員(在宅)の合計は、2,261人(75歳以上1,000人当たりの偏差値42)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

2. 推移

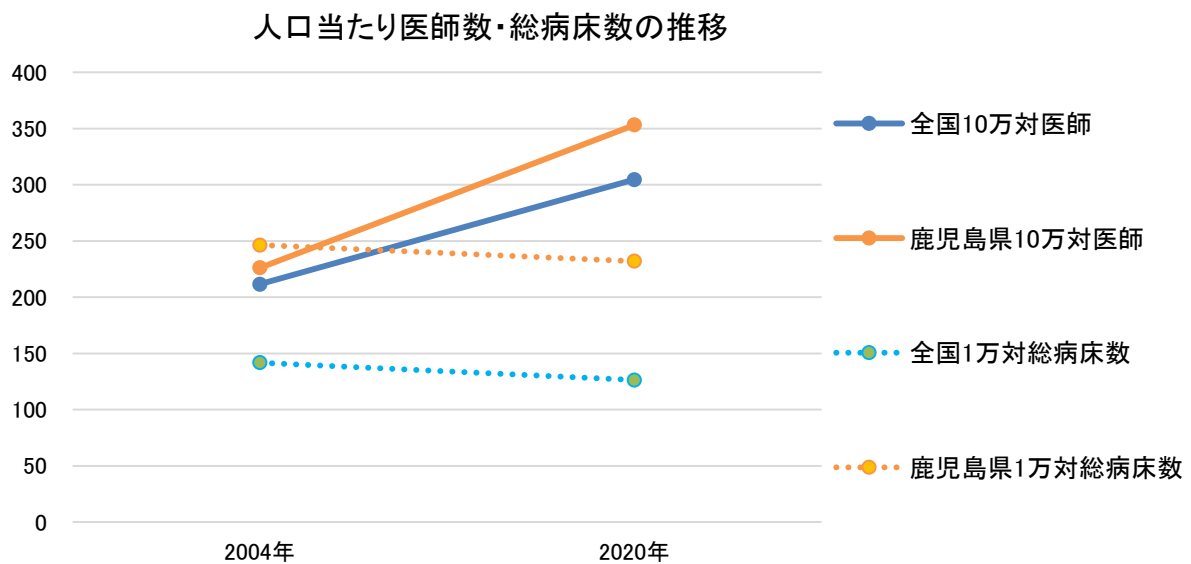
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数は281(人口10万人当たり16病院(全国平均7.1)偏差値73)であったが、2020年に234(人口10万人当たり14.7病院(全国平均6.5)偏差値70)となり、16年間で47病院が減少した。

2004年の診療所数は1,397(人口10万人当たり80診療所(全国平均76)偏差値52)であったが、2020年に1,368(人口10万人当たり86診療所(全国平均81)偏差値52)と、29診療所が減少した。

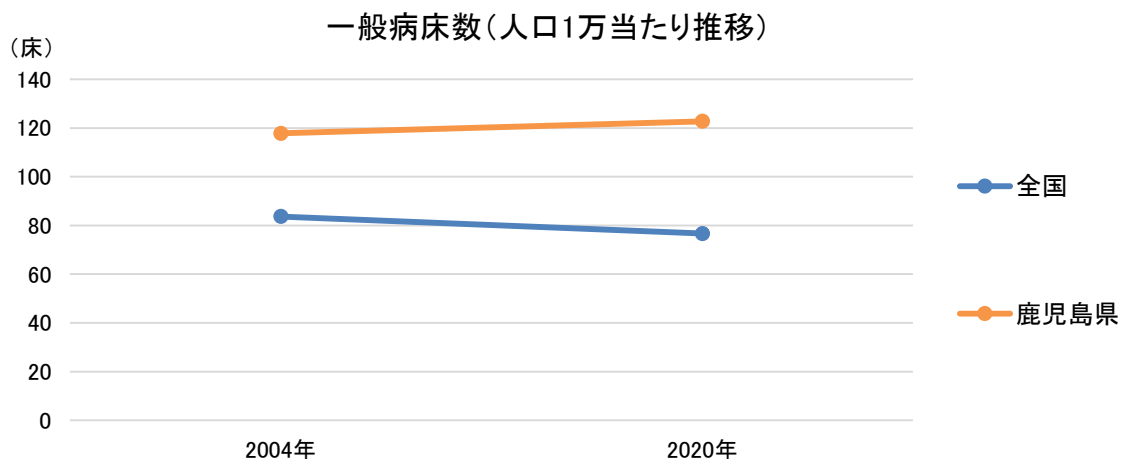
2004年の総病床数は43,212床(人口1万人当たり246(全国平均142)偏差値69)であったが、2020年に36,866床(人口1万人当たり232(全国平均126)偏差値70)と、6,346床の減少、率にして15%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数は3,967人(人口10万人当たり226人(全国平均212人)偏差値52)であったが、2020年に5,610人(人口10万人当たり353人(全国平均305人)偏差値55)と、1,643人の増加、率にして41%の増加(全国平均42%の増加)が見られた。



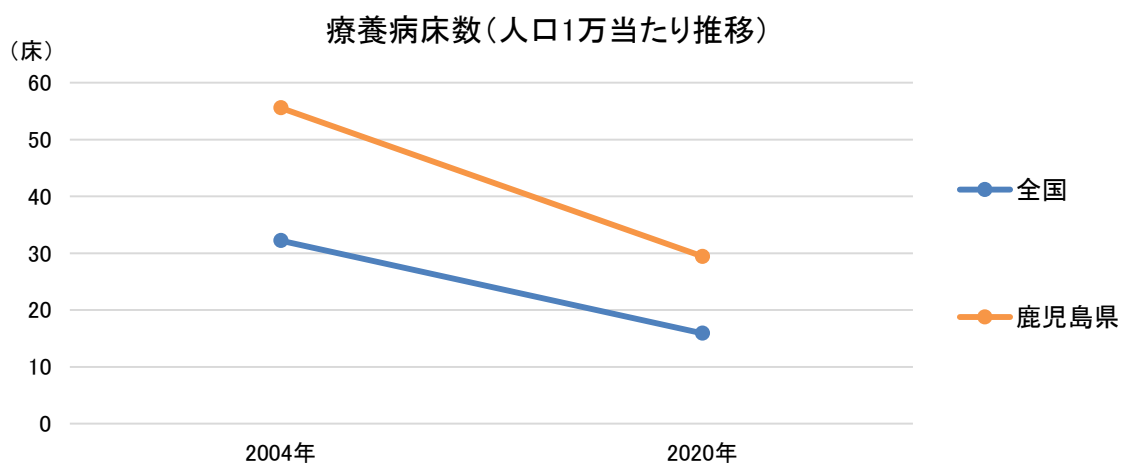
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)は20,651床(人口1万人当たり118(全国平均84)偏差値62)であったが、2020年に19,492床(人口1万人当たり123(全国平均77)偏差値67)と、1,159床の減少、率にして6%の減少(全国平均10%の減少)が見られた。



【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)は12,230床(75歳以上1,000人当たり56(全国平均32)偏差値63)であったが、2020年に7,876床(75歳以上1,000人当たり29(全国平均16)偏差値65)と、4354床の減少、率にして36%の減少(全国平均21%の減少)が見られた。



資料編 ー 当県ならびに二次医療圏別資料

資_図表 46-1 地理情報・人口情報

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率
全国	126,146		372,959		338.2		29%
鹿児島県	1,588	24位	9,187	10位	172.9		33%
鹿児島	669	42%	1,045	11%	639.9	地方都市型	29%
南薩	125	8%	865	9%	144.5	過疎地域型	40%
川薩	113	7%	987	11%	114.2	過疎地域型	34%
出水	81	5%	580	6%	139.5	過疎地域型	36%
姶良・伊佐	233	15%	1,371	15%	170.0	地方都市型	31%
曾於	75	5%	781	9%	96.1	過疎地域型	39%
肝属	149	9%	1,323	14%	112.5	過疎地域型	34%
熊毛	40	3%	994	11%	39.8	過疎地域型	38%
奄美	104	7%	1,240	14%	84.1	過疎地域型	35%
出典	<人口>令和2年国勢調査 人口等基本集計 令和2年10月 <面積>令和2年国勢調査 人口等基本集計 令和2年10月						

資_図表 46-2 人口動態

二次医療圏	2020年 総人口 (単位: 千人)	2030年 総人口 (単位: 千人)	2045年 総人口 (単位: 千人)	2020年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2030年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2045年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2020→ 30年 総人口 増減率	2030→ 45年 総人口 増減率	2020→ 30年 75歳以上 人口 増減率	2030→ 45年 75歳以上 人口 増減率
全国	126,146	119,125	106,421	18,602	22,884	22,767	-6%	-11%	23%	-1%
鹿児島県	1,588	1,437	1,204	267	321	305	-10%	-16%	20%	-5%
鹿児島	669	630	558	97	127	130	-6%	-11%	31%	2%
南薩	125	105	76	27	29	23	-16%	-28%	7%	-21%
川薩	113	101	82	21	23	21	-11%	-19%	10%	-9%
出水	81	70	55	16	17	15	-14%	-21%	6%	-12%
姶良・伊佐	233	214	186	38	47	46	-8%	-13%	24%	-2%
曾於	75	64	48	16	17	14	-15%	-25%	6%	-18%
肝属	149	131	106	27	31	28	-12%	-19%	15%	-10%
熊毛	40	34	26	8	9	8	-15%	-24%	13%	-11%
奄美	104	88	67	19	22	20	-15%	-24%	16%	-9%
出典	<人口(2020年)>令和2年国勢調査 人口等基本集計 令和2年10月 <人口(2030年、2045年)>市区町村別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成30年3月									

46.鹿児島県(2022年版)

資_図表 46-3 国保の医療費・地域差指数、全体の介護給付費

二次医療圏	一人あたり 医療費 (国保のみ) (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院費			入院外+ 調剤			被保険者 一人あたり 介護給付費	
				(単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	(単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	(単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	372	(46)	1.000	147	(33)	1.000	199	(18)	1.000	263	(33)
鹿児島県	452	68	1.186	216	71	1.441	213	58	1.039	289	58
鹿児島	462	70	1.223	216	71	1.457	219	61	1.083	276	54
南薩	486	75	1.243	236	77	1.528	227	66	1.083	311	65
川薩	491	76	1.212	225	74	1.409	243	75	1.118	302	62
出水	487	75	1.257	218	72	1.428	245	76	1.180	295	60
始良・伊佐	473	72	1.209	225	74	1.459	225	65	1.072	262	50
曾於	439	65	1.136	208	69	1.358	211	56	1.015	318	67
肝属	419	60	1.105	202	67	1.350	197	48	0.967	324	69
熊毛	377	51	1.001	201	67	1.351	158	26	0.784	284	56
奄美	365	49	0.999	197	65	1.363	149	22	0.763	295	60

出典 <一人あたり医療費>令和元年度医療費の地域差分析 厚生労働省
 <一人あたり介護給付費>令和元年度介護保険事業状況報告(年報) 令和元年度累計(平成31年3月サービス分から令和元年2月サービス分まで)
 ※愛知県、福岡県、沖縄県の一部市町村は二次医療圏をまたぐ広域連合を構成しているため、介護給付費の二次医療圏値の算定には構成市町村の75歳以上人口による按分を用いた。

資_図表 46-4 後期高齢者の医療費・地域差指数

二次医療圏	一人あたり 後期高齢者 医療費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院費			入院外+ 調剤		
				(単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	(単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数
全国	937	(123)	1.000	475	(103)	1.000	426	(38)	1.000
鹿児島県	1,104	64	1.153	662	68	1.337	416	47	0.984
鹿児島	1,165	68	1.243	687	71	1.425	445	55	1.061
南薩	1,192	71	1.228	756	77	1.491	414	47	0.967
川薩	1,090	62	1.134	645	66	1.275	423	49	1.004
出水	1,037	58	1.095	586	61	1.193	428	50	1.017
始良・伊佐	1,150	67	1.211	714	73	1.445	412	46	0.980
曾於	970	53	1.017	555	58	1.120	393	41	0.930
肝属	1,007	56	1.038	569	59	1.129	419	48	0.973
熊毛	956	52	0.996	613	63	1.236	327	24	0.762
奄美	988	54	1.001	639	66	1.230	326	23	0.756

出典 <一人あたり後期高齢者医療費>令和元年度医療費の地域差分析 厚生労働省

資_図表 46-5 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,238		6.5	(4.2)	102,612		81	(19.4)
鹿児島県	234	2.8%	14.7	70	1,368	1.3%	86	52
鹿児島	102	44%	15.2	71	606	44%	91	55
南薩	30	13%	24.0	92	116	8%	93	56
川薩	15	6%	13.3	66	119	9%	106	63
出水	8	3%	9.9	58	66	5%	82	50
姶良・伊佐	33	14%	14.2	68	190	14%	82	50
曾於	9	4%	12.0	63	52	4%	69	44
肝属	18	8%	12.1	63	113	8%	76	47
熊毛	4	2%	10.1	59	24	2%	61	39
奄美	15	6%	14.4	69	82	6%	79	49
出典	令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月				令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月			

資_図表 46-6 診療所数(全体、無床、有床)

二次医療圏	診療所数 (再掲)	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	無床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	有床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	102,612		81	(19.4)	96,309		76	(19.2)	6,303		5.0	(5.6)
鹿児島県	1,368	1.3%	86	52	1,070	1.1%	67	45	298	4.7%	18.8	74
鹿児島	606	44%	91	55	487	46%	73	48	119	40%	17.8	73
南薩	116	8%	93	56	87	8%	70	46	29	10%	23.2	82
川薩	119	9%	106	63	94	9%	83	54	25	8%	22.2	80
出水	66	5%	82	50	51	5%	63	43	15	5%	18.5	74
姶良・伊佐	190	14%	82	50	142	13%	61	42	48	16%	20.6	78
曾於	52	4%	69	44	43	4%	57	40	9	3%	12.0	62
肝属	113	8%	76	47	82	8%	55	39	31	10%	20.8	78
熊毛	24	2%	61	39	20	2%	51	37	4	1%	10.1	59
奄美	82	6%	79	49	64	6%	61	42	18	6%	17.3	72
出典	令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月				令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月				令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月			

46.鹿児島県(2022年版)

資_図表 46-7 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院				診療所				病院+			
	総病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,507,526		1,195	(487)	86,046		68	(87)	1,593,572		1,263	(538)
鹿児島県	32,164	2.1%	2,025	67	4,702	5.5%	296	76	36,866	2.3%	2,321	70
鹿児島	13,682	43%	2,045	67	1,876	40%	280	74	15,558	42%	2,326	70
南薩	3,493	11%	2,794	83	479	10%	383	86	3,972	11%	3,177	86
川薩	1,915	6%	1,700	60	362	8%	321	79	2,277	6%	2,021	64
出水	1,227	4%	1,515	57	269	6%	332	80	1,496	4%	1,848	61
始良・伊佐	4,967	15%	2,131	69	749	16%	321	79	5,716	16%	2,453	72
曾於	970	3%	1,293	52	151	3%	201	65	1,121	3%	1,494	54
肝属	2,894	9%	1,945	65	478	10%	321	79	3,372	9%	2,266	69
熊毛	536	2%	1,355	53	69	1%	174	62	605	2%	1,530	55
奄美	2,480	8%	2,378	74	269	6%	258	72	2,749	7%	2,636	76
出典	令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月				令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資_図表 46-8 病院病床数（一般病床、療養病床、精神病床）

二次医療圏	一般				療養				精神			
	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	887,920		704	(229)	289,114		229	(184)	324,481		257	(223)
鹿児島県	15,397	1.7%	969	62	7,269	2.5%	458	62	9,362	2.9%	589	65
鹿児島	7,178	47%	1,073	66	2,861	39%	428	61	3,583	38%	536	62
南薩	1,168	8%	934	60	851	12%	681	75	1,446	15%	1,157	90
川薩	850	6%	755	52	485	7%	431	61	576	6%	511	61
出水	479	3%	592	45	249	3%	308	54	495	5%	611	66
始良・伊佐	1,943	13%	834	56	1,397	19%	599	70	1,619	17%	695	70
曾於	392	3%	522	42	452	6%	602	70	124	1%	165	46
肝属	1,811	12%	1,217	72	426	6%	286	53	653	7%	439	58
熊毛	401	3%	1,014	64	0	0%	0	38	130	1%	329	53
奄美	1,175	8%	1,127	68	548	8%	526	66	736	8%	706	70
出典	令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月				令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月				令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月			

資_図表 46-9 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	地域包括 ケア 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
鹿児島県	2,262	2.6%	142	64	2,310	3.1%	145	61
鹿児島	1,182	52%	177	70	929	40%	139	60
南薩	209	9%	167	69	232	10%	186	66
川薩	136	6%	121	60	259	11%	230	72
出水	138	6%	170	69	75	3%	93	54
姶良・伊佐	298	13%	128	61	444	19%	191	67
曾於	16	1%	21	41	76	3%	101	55
肝属	170	8%	114	58	108	5%	73	52
熊毛	48	2%	121	60	42	2%	106	56
奄美	65	3%	62	49	145	6%	139	60
出典	令和4年4月地方厚生局				令和4年4月地方厚生局			

資_図表 46-10 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般 病床数	療養 病床数	総病床数	一般 病床数	療養 病床数	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	441,504	395,508	14,642	1,056,086	488,026	271,703	44.8%	(26%)	5.1%	(23%)
鹿児島県	5,600	5,068	94	26,167	10,372	6,766	32.8%	45	1.4%	48
鹿児島	2,051	1,974	30	11,524	5,203	2,740	27.5%	43	1.1%	48
南薩	455	402	29	3,038	776	816	34.1%	46	3.4%	49
川薩	244	244	0	1,671	606	485	28.7%	44	0.0%	48
出水	261	257	0	966	222	249	53.7%	53	0.0%	48
姶良・伊佐	1,163	821	0	3,796	1,126	1,393	42.2%	49	0.0%	48
曾於	0	0	0	831	378	327	0.0%	33	0.0%	48
肝属	892	853	35	1,906	998	255	46.1%	51	12.1%	53
熊毛	62	60	0	474	341	0	15.0%	39		
奄美	472	457	0	1,961	722	501	38.8%	48	0.0%	48
出典	地方厚生局指定一覧令和4年4月公表データをもとに株式会社ウエルネスが集計 公的病院は、「新公立病院改革プラン」・「公的医療機関等2025プラン」の策定対象病院とし、開設者が国・都道府県／市区町村／日本赤十字社／済生会／独立行政法人地域医療機能推進機構／地方独立行政法人／独立行政法人国立病院機構／国家公務員共済組合連合会などの病院を含む(ただし地域医療支援病院と特定機能病院については上記に適合しない学校法人の大学病院など全て民間に分類)。これら以外を民間病院としている。指定一覧掲載施設のうち、休止中の病院等は除外している。									

46.鹿児島県(2022年版)

資_図表 46-11 全身麻酔件数、分娩件数(年間)

二次医療圏	全身麻酔件数				分娩件数			
	全身麻酔件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	分娩件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	2,315,172		1,835	(812)	839,196		665	(271)
鹿児島県	33,225	1.4%	2,092	53	13,224	1.6%	833	56
鹿児島	22,633	68%	3,384	69	7,368	56%	1,101	66
南薩	1,321	4%	1,057	40	528	4%	422	41
川薩	1,743	5%	1,547	46	1,044	8%	927	60
出水	1,105	3%	1,365	44	492	4%	608	48
始良・伊佐	2,559	8%	1,098	41	1,836	14%	788	55
曾於	322	1%	429	33	0	0%	0	25
肝属	1,769	5%	1,189	42	1,272	10%	855	57
熊毛	284	1%	718	36	156	1%	394	40
奄美	1,489	4%	1,428	45	528	4%	506	44
出典	令和3年度病床機能報告 (令和2年4月～令和3年3月)				令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月 ※令和2年9月の月間件数×12			

資_図表 46-12 医師数(総数、病院医師数、診療所医師数)

二次医療圏	総医師数				病院医師数				診療所医師数			
	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	384,332		305	(99)	243,064		193	(76)	141,268		112	(34)
鹿児島県	5,610	1.5%	353	55	3,837	1.6%	242	56	1,773	1.3%	112	50
鹿児島	3,254	58%	487	68	2,374	62%	355	71	880	50%	132	56
南薩	380	7%	304	50	240	6%	192	50	140	8%	112	50
川薩	332	6%	295	49	164	4%	146	44	167	9%	149	61
出水	169	3%	209	40	97	3%	119	40	73	4%	90	43
始良・伊佐	637	11%	273	47	403	10%	173	47	234	13%	100	47
曾於	112	2%	149	34	59	2%	79	35	53	3%	70	38
肝属	375	7%	252	45	246	6%	165	46	129	7%	87	43
熊毛	71	1%	180	37	52	1%	130	42	20	1%	50	32
奄美	280	5%	268	46	202	5%	194	50	78	4%	75	39
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月				令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月			

資_図表 46-13 専門医数(総合内科、小児科、産婦人科)

二次医療圏	総合内科				小児科				産婦人科			
	専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	33,119		26.3	(12.4)	14,168		11.2	(4.9)	11,602		9.2	(4.3)
鹿児島県	404	1.2%	25.4	49	171	1.2%	10.8	49	159	1.4%	10.0	52
鹿児島	262	65%	39.2	60	111	65%	16.6	61	113	71%	16.9	68
南薩	22	5%	17.6	43	10	6%	8.0	43	6	4%	4.8	40
川薩	23	6%	20.4	45	9	5%	8.0	43	7	4%	6.2	43
出水	11	3%	13.6	40	7	4%	8.6	45	4	3%	4.9	40
姶良・伊佐	39	10%	16.7	42	24	14%	10.3	48	14	9%	6.0	43
曾於	7	2%	9.3	36	1	1%	1.3	30	1	1%	1.3	32
肝属	24	6%	16.1	42	6	4%	4.0	35	7	4%	4.7	39
熊毛	4	1%	10.1	37	2	1%	5.1	37	1	1%	2.5	34
奄美	12	3%	11.5	38	1	1%	1.0	29	6	4%	5.8	42

出典 令和2年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 令和2年12月

資_図表 46-14 専門医数(皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科)

二次医療圏	皮膚科				眼科				耳鼻咽喉科			
	専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	5,948		4.7	(2.3)	9,835		7.8	(3.1)	7,558		6.0	(2.7)
鹿児島県	69	1.2%	4.3	48	108	1.1%	6.8	47	79	1.0%	5.0	46
鹿児島	40	58%	6.0	55	63	58%	9.4	55	48	61%	7.2	54
南薩	4	6%	3.2	44	6	6%	4.8	40	5	6%	4.0	42
川薩	6	9%	5.3	53	9	8%	8.0	51	5	6%	4.4	44
出水	2	3%	2.5	40	5	5%	6.2	45	4	5%	4.9	46
姶良・伊佐	8	12%	3.4	45	12	11%	5.1	41	9	11%	3.9	42
曾於	1	1%	1.3	35	3	3%	4.0	38	2	3%	2.7	37
肝属	6	9%	4.0	47	7	6%	4.7	40	6	8%	4.0	43
熊毛	0	0%	0	30	0	0%	0	25	0	0%	0	27
奄美	2	3%	1.9	38	3	3%	2.9	34	0	0%	0	27

出典 令和2年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 令和2年12月

46.鹿児島県(2022年版)

資_図表 46-15 専門医数(精神科、外科、整形外科)

二次医療圏	精神科 専門医数				外科 専門医数				整形外科 専門医数			
	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	
全国	9,934		7.9	(3.6)	22,312		17.7	(7.0)	17,476		13.9	(4.9)
鹿児島県	163	1.6%	10.3	57	313	1.4%	19.7	53	259	1.5%	16.3	55
鹿児島	88	54%	13.2	65	203	65%	30.3	68	160	62%	23.9	71
南薩	15	9%	12.0	62	14	4%	11.2	41	20	8%	16.0	54
川薩	9	6%	8.0	50	16	5%	14.2	45	16	6%	14.2	51
出水	6	4%	7.4	49	9	3%	11.1	41	9	3%	11.1	44
姶良・伊佐	24	15%	10.3	57	31	10%	13.3	44	22	8%	9.4	41
曾於	6	4%	8.0	50	7	2%	9.3	38	3	1%	4.0	30
肝属	5	3%	3.4	37	23	7%	15.5	47	17	7%	11.4	45
熊毛	0	0%	0	28	4	1%	10.1	39	4	2%	10.1	42
奄美	10	6%	9.6	55	6	2%	5.8	33	8	3%	7.7	37
出典	令和2年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 令和2年12月											

資_図表 46-16 専門医数(泌尿器科、脳神経外科、放射線科)

二次医療圏	泌尿器科 専門医数				脳神経外科 専門医数				放射線科 専門医数			
	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	
全国	6,279		5.0	(2.2)	7,149		5.7	(2.5)	6,391		5.1	(3.3)
鹿児島県	98	1.6%	6.2	55	106	1.5%	6.7	54	101	1.6%	6.4	54
鹿児島	59	60%	8.8	67	58	55%	8.7	62	70	69%	10.5	66
南薩	2	2%	1.6	35	7	7%	5.6	50	8	8%	6.4	54
川薩	6	6%	5.3	52	3	3%	2.7	38	6	6%	5.3	51
出水	8	8%	9.9	72	4	4%	4.9	47	3	3%	3.7	46
姶良・伊佐	8	8%	3.4	43	16	15%	6.9	55	6	6%	2.6	43
曾於	2	2%	2.7	40	3	3%	4.0	43	2	2%	2.7	43
肝属	9	9%	6.0	55	13	12%	8.7	62	3	3%	2.0	41
熊毛	0	0%	0	28	1	1%	2.5	37	0	0%	0	35
奄美	4	4%	3.8	45	1	1%	1.0	31	3	3%	2.9	43
出典	令和2年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 令和2年12月											

資_図表 46-17 専門医数(麻酔科、病理、救急科)

二次医療圏	麻酔科				病理				救急科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	7,997		6.3	(3.5)	1,820		1.4	(1.0)	4,704		3.7	(2.3)
鹿児島県	117	1.5%	7.4	53	28	1.5%	1.8	53	62	1.3%	3.9	51
鹿児島	88	75%	13.2	70	24	86%	3.6	71	43	69%	6.4	62
南薩	8	7%	6.4	50	0	0%	0	36	4	6%	3.2	48
川薩	4	3%	3.6	42	1	4%	0.9	44	3	5%	2.7	45
出水	3	3%	3.7	42	0	0%	0	36	1	2%	1.2	39
始良・伊佐	5	4%	2.1	38	1	4%	0.4	40	2	3%	0.9	38
曾於	3	3%	4.0	43	0	0%	0	36	0	0%	0	34
肝属	3	3%	2.0	38	1	4%	0.7	42	4	6%	2.7	45
熊毛	1	1%	2.5	39	0	0%	0	36	0	0%	0	34
奄美	2	2%	1.9	37	1	4%	1.0	45	5	8%	4.8	55
出典	令和2年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 令和2年12月											

資_図表 46-18 専門医数(形成外科、リハビリテーション科)

二次医療圏	形成外科				リハビリテーション科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	2,377		1.9	(1.4)	2,868		2.3	(1.6)
鹿児島県	20	0.8%	1.3	46	70	2.4%	4.4	63
鹿児島	13	65%	1.9	50	40	57%	6.0	73
南薩	1	5%	0.8	42	4	6%	3.2	56
川薩	0	0%	0	37	4	6%	3.6	58
出水	0	0%	0	37	4	6%	4.9	66
始良・伊佐	2	10%	0.9	43	10	14%	4.3	62
曾於	0	0%	0	37	0	0%	0	36
肝属	3	15%	2.0	51	6	9%	4.0	61
熊毛	1	5%	2.5	55	1	1%	2.5	52
奄美	0	0%	0	37	1	1%	1.0	42
出典	令和2年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 令和2年12月							

46.鹿児島県(2022年版)

資_図表 46-19 看護師数(総数、病院看護師数、診療所看護師数)

二次医療圏	総看護師数				病院看護師数				診療所看護師数			
	総数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	総数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	総数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,164,671		923	(286)	918,226		728	(238)	246,444		195	(75)
鹿児島県	23,334	2.0%	1,469	69	17,841	1.9%	1,123	67	5,494	2.2%	346	70
鹿児島	11,231	48%	1,679	76	8,865	50%	1,325	75	2,367	43%	354	71
南薩	2,144	9%	1,715	78	1,656	9%	1,325	75	488	9%	390	76
川薩	1,469	6%	1,304	63	996	6%	884	57	473	9%	420	80
出水	904	4%	1,117	57	589	3%	728	50	315	6%	389	76
始良・伊佐	3,098	13%	1,329	64	2,322	13%	996	61	776	14%	333	68
曾於	663	3%	883	49	447	3%	595	44	216	4%	288	62
肝属	2,100	9%	1,411	67	1,585	9%	1,065	64	515	9%	346	70
熊毛	398	2%	1,006	53	301	2%	760	51	97	2%	246	57
奄美	1,328	6%	1,273	62	1,080	6%	1,035	63	248	5%	238	56
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月				令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月			

資_図表 46-20 療法士総数と薬剤師数

二次医療圏	療法士総数				薬剤師数			
	総数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	総数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	149,112		118	(62)	321,982		255	(99)
鹿児島県	3,789	2.5%	239	69	3,266	1.0%	206	45
鹿児島	1,760	46%	263	73	1,751	54%	262	51
南薩	386	10%	308	81	217	7%	174	42
川薩	218	6%	193	62	213	7%	189	43
出水	153	4%	189	61	131	4%	162	41
始良・伊佐	607	16%	260	73	397	12%	170	41
曾於	76	2%	101	47	90	3%	120	36
肝属	370	10%	249	71	276	8%	185	43
熊毛	78	2%	197	63	45	1%	114	36
奄美	143	4%	137	53	146	4%	140	38
出典	令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月				令和2年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 令和2年12月			

資_図表 46-21 在宅医療施設数(在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション)

二次医療圏	在宅療養支援診療所				在宅療養支援病院				訪問看護ステーション			
	施設数	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	施設数	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	施設数	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	15,280		0.8	(0.4)	1,698		0.1	(0.1)	14,163		0.8	(0.3)
鹿児島県	272	1.8%	1.0	55	59	3.5%	0.2	67	228	1.6%	0.9	54
鹿児島	97	36%	1.0	54	27	46%	0.3	75	96	42%	1.0	59
南薩	18	7%	0.7	46	6	10%	0.2	67	17	7%	0.6	45
川薩	26	10%	1.3	61	5	8%	0.2	70	13	6%	0.6	45
出水	19	7%	1.2	60	2	3%	0.1	55	13	6%	0.8	53
始良・伊佐	54	20%	1.4	65	7	12%	0.2	63	33	14%	0.9	55
曾於	6	2%	0.4	39	0	0%	0	38	9	4%	0.6	43
肝属	27	10%	1.0	54	3	5%	0.1	52	22	10%	0.8	52
熊毛	4	1%	0.5	42	1	2%	0.1	55	6	3%	0.8	50
奄美	21	8%	1.1	57	8	14%	0.4	93	19	8%	1.0	59
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 令和4年4月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 令和4年4月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 令和4年5月			

資_図表 46-22 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数				介護保険施設定員(病床)数				高齢者住宅定員数			
	施設数	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	施設数	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	施設数	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,806,963		97	(15)	1,036,035		56	(14)	770,928		41	(14)
鹿児島県	28,531	1.6%	107	56	18,594	1.8%	70	60	9,937	1.3%	37	47
鹿児島	10,374	36%	107	57	5,708	31%	59	52	4,666	47%	48	55
南薩	2,986	10%	111	59	2,291	12%	85	71	695	7%	26	39
川薩	2,398	8%	117	63	1,803	10%	88	73	595	6%	29	41
出水	1,649	6%	105	55	1,072	6%	68	59	577	6%	37	47
始良・伊佐	3,641	13%	97	50	2,343	13%	62	55	1,298	13%	35	45
曾於	1,847	6%	117	63	1,314	7%	83	70	533	5%	34	44
肝属	2,695	9%	98	51	1,781	10%	65	57	914	9%	33	44
熊毛	646	2%	82	40	516	3%	66	57	130	1%	17	32
奄美	2,295	8%	120	65	1,766	9%	92	76	529	5%	28	40
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数、介護医療院定員数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

46.鹿児島県(2022年版)

資_図表 46-23 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数、介護医療院定員数

二次医療圏	老人保健施設(老健)				特別養護老人ホーム(特養)				介護療養病床数				介護医療院			
	定員数	全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	定員数	全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	定員数	全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	365,083		20	(6.3)	605,983		33	(10.0)	25,266		1.4	(2.6)	39,703		2.1	(3.5)
鹿児島県	6,346	1.7%	24	57	10,941	1.8%	41	58	240	0.9%	0.9	48	1,067	2.7%	4.0	55
鹿児島	1,919	30%	20	50	3,368	31%	35	52	104	43%	1.1	49	317	30%	3.3	53
南薩	814	13%	30	67	1,301	12%	48	66	0	0%	0	45	176	16%	6.6	63
川薩	580	9%	28	64	1,158	11%	56	74	0	0%	0	45	65	6%	3.2	53
出水	379	6%	24	57	623	6%	40	57	0	0%	0	45	70	7%	4.5	57
姶良・伊佐	861	14%	23	55	1,228	11%	33	50	57	24%	1.5	51	197	18%	5.3	59
曾於	471	7%	30	66	722	7%	46	63	40	17%	2.5	54	81	8%	5.1	59
肝属	593	9%	22	53	1,045	10%	38	56	0	0%	0	45	143	13%	5.2	59
熊毛	99	2%	13	39	417	4%	53	70	0	0%	0	45	0	0%	0	44
奄美	630	10%	33	71	1,079	10%	56	74	39	16%	2.0	53	18	2%	0.9	47
出典	令和4年5月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの															

資_図表 46-24 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム				軽費ホーム				グループホーム			
	定員数	全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	定員数	全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	定員数	全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	258,955		13.9	(9.4)	24,123		1.3	(2.1)	213,148		11.5	(5.6)
鹿児島県	1,573	0.6%	5.9	41	108	0.4%	0.4	46	5,698	2.7%	21.3	67
鹿児島	757	48%	7.8	44	108	100%	1.1	49	2,332	41%	24.1	72
南薩	21	1%	0.8	36	0	0%	0	44	477	8%	17.8	61
川薩	0	0%	0	35	0	0%	0	44	423	7%	20.6	66
出水	114	7%	7.3	43	0	0%	0	44	261	5%	16.7	59
姶良・伊佐	231	15%	6.2	42	0	0%	0	44	744	13%	19.8	65
曾於	195	12%	12.4	48	0	0%	0	44	315	6%	20.0	65
肝属	84	5%	3.1	38	0	0%	0	44	735	13%	26.9	77
熊毛	0	0%	0	35	0	0%	0	44	117	2%	14.9	56
奄美	171	11%	8.9	45	0	0%	0	44	294	5%	15.4	57
出典	令和4年5月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 46-25 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住) 定員数

二次医療圏	サ高住 (全施設)	全国	75歳以上	偏差値	サ高住 (特定 施設)	全国	75歳以上	偏差値	サ高住 (非特定 施設)	全国	75歳以上	偏差値
		シェア 県内 シェア	1,000人 当り	*全国は 標準偏差		シェア 県内 シェア	1,000人 当り	*全国は 標準偏差		シェア 県内 シェア	1,000人 当り	*全国は 標準偏差
全国	274,702		14.8	(7.0)	33,108		1.8	(2.0)	241,594		13.0	(6.6)
鹿児島県	2,558	0.9%	9.6	43	160	0.5%	0.6	44	2,398	1.0%	9.0	44
鹿児島	1,469	57%	15.2	51	100	63%	1.0	46	1,369	57%	14.2	52
南薩	197	8%	7.3	39	0	0%	0	41	197	8%	7.3	41
川薩	172	7%	8.4	41	0	0%	0	41	172	7%	8.4	43
出水	202	8%	12.9	47	60	38%	3.8	60	142	6%	9.1	44
始良・伊佐	323	13%	8.6	41	0	0%	0	41	323	13%	8.6	43
曾於	23	1%	1.5	31	0	0%	0	41	23	1%	1.5	33
肝属	95	4%	3.5	34	0	0%	0	41	95	4%	3.5	36
熊毛	13	1%	1.7	31	0	0%	0	41	13	1%	1.7	33
奄美	64	3%	3.3	34	0	0%	0	41	64	3%	3.3	35
出典	サ高住(特定施設)とサ高住(非特定施設)の合計				令和4年4月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの				令和4年4月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの			

資_図表 46-26 介護サービス従事看護師数(介護施設、訪問看護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サー ビス従事 看護師数	全国	75歳以上	偏差値	看護師数 (施設)	全国	75歳以上	偏差値	看護師数 (訪問)	全国	75歳以上	偏差値
		シェア 県内 シェア	1,000人 当り	*全国は 標準偏差		シェア 県内 シェア	1,000人 当り	*全国は 標準偏差		シェア 県内 シェア	1,000人 当り	*全国は 標準偏差
全国	188,635		10.1	(2.3)	119,762		6.4	(2.1)	68,873		3.7	(1.3)
鹿児島県	2,979	1.6%	11.1	54	2,012	1.7%	7.5	55	968	1.4%	3.6	49
鹿児島	1,152	39%	11.9	58	639	32%	6.6	51	513	53%	5.3	62
南薩	298	10%	11.1	54	245	12%	9.1	63	53	5%	2.0	37
川薩	201	7%	9.8	49	146	7%	7.1	53	55	6%	2.7	42
出水	146	5%	9.3	46	105	5%	6.7	51	40	4%	2.6	41
始良・伊佐	429	14%	11.4	56	305	15%	8.1	58	124	13%	3.3	47
曾於	180	6%	11.5	56	146	7%	9.3	64	34	3%	2.1	38
肝属	261	9%	9.5	47	187	9%	6.8	52	74	8%	2.7	42
熊毛	65	2%	8.3	42	49	2%	6.3	49	16	2%	2.0	37
奄美	247	8%	12.9	62	188	9%	9.8	66	59	6%	3.1	45
出典	令和4年5月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

46.鹿児島県(2022年版)

資_図表 46-27 介護サービス従事介護職員数(介護施設等、在宅介護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サービス従事介護職員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員数 (介護施設 等)				介護職員数 (在宅)			
					介護職員 数 (介護施設 等)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (在宅)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,556,622		84	(12.7)	1,327,531		71	(12.4)	229,090		12.3	(5.1)
鹿児島県	25,791	1.7%	96	60	23,530	1.8%	88	63	2,261	1.0%	8.5	42
鹿児島	9,087	35%	94	58	8,055	34%	83	60	1,032	46%	10.7	47
南薩	2,655	10%	99	62	2,552	11%	95	69	103	5%	3.8	33
川薩	2,084	8%	102	64	1,973	8%	96	70	111	5%	5.4	37
出水	1,302	5%	83	50	1,178	5%	75	53	124	5%	7.9	41
始良・伊佐	3,148	12%	84	50	2,925	12%	78	55	223	10%	5.9	38
曾於	1,589	6%	101	64	1,516	6%	96	70	73	3%	4.7	35
肝属	2,857	11%	104	66	2,597	11%	95	69	260	12%	9.5	45
熊毛	799	3%	102	64	717	3%	91	66	82	4%	10.5	46
奄美	2,269	9%	119	77	2,017	9%	105	77	252	11%	13.2	52
出典	令和4年5月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 46-28 在宅医療・介護サービス利用者数(月間)

二次医療圏	在宅医療 利用者数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数				訪問介護 利用者数			
					訪問看護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問介護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,477,229		79	(35)	677,400		36	(14)	1,147,886		62	(23)
鹿児島県	25,429	1.7%	95	54	6,661	1.0%	25	42	12,774	1.1%	48	44
鹿児島	13,870	55%	143	68	2,804	42%	29	45	6,055	47%	63	50
南薩	1,237	5%	46	41	344	5%	13	33	663	5%	25	34
川薩	1,166	5%	57	44	373	6%	18	37	558	4%	27	35
出水	997	4%	64	46	552	8%	35	49	707	6%	45	43
始良・伊佐	2,762	11%	74	48	837	13%	22	40	1,088	9%	29	36
曾於	518	2%	33	37	223	3%	14	34	414	3%	26	34
肝属	3,003	12%	110	59	623	9%	23	40	1,291	10%	47	44
熊毛	173	1%	22	34	286	4%	36	50	400	3%	51	45
奄美	1,703	7%	89	53	619	9%	32	47	1,598	13%	83	60
出典	令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月				令和4年5月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの							

資_図表 46-29 病院数の推移

二次医療圏	2004年			2020年			2004→2020増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	9,077	7.1	(3.8)	8,238	6.5	(4.2)	-839	-9%
鹿児島県	281	16.0	73	234	14.7	70	-47	-17%
鹿児島	122	17.7	77	102	15.2	71	-20	-16%
南薩	34	21.8	88	30	24.0	92	-4	-12%
川薩	21	16.4	74	15	13.3	66	-6	-29%
出水	11	11.6	62	8	9.9	58	-3	-27%
始良・伊佐	34	13.8	67	33	14.2	68	-1	-3%
曾於	12	13.0	65	9	12.0	63	-3	-25%
肝属	26	15.3	71	18	12.1	63	-8	-31%
熊毛	5	10.4	59	4	10.1	59	-1	-20%
奄美	16	12.6	64	15	14.4	69	-1	-6%
出典	<病院数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <病院数2020年>令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月							

資_図表 46-30 診療所数の推移

二次医療圏	2004年			2020年			2004→2020増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	97,051	76	(20)	102,612	81	(19)	5,561	6%
鹿児島県	1,397	80	52	1,368	86	52	-29	-2%
鹿児島	586	85	54	606	91	55	20	3%
南薩	129	83	53	116	93	56	-13	-10%
川薩	122	95	60	119	106	63	-3	-2%
出水	63	66	45	66	82	50	3	5%
始良・伊佐	180	73	49	190	82	50	10	6%
曾於	64	69	47	52	69	44	-12	-19%
肝属	129	76	50	113	76	47	-16	-12%
熊毛	23	48	36	24	61	39	1	4%
奄美	101	80	52	82	79	49	-19	-19%
出典	<診療所数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <診療所数2020年>令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月							

46.鹿児島県(2022年版)

資_図表 46-31 医師数の推移

二次医療圏	2004年			2020年			2004→2020増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	270,371	212	(84)	384,332	305	(99)	113,961	42%
鹿児島県	3,967	226	52	5,610	353	55	1,643	41%
鹿児島	2,163	313	62	3,254	487	68	1,091	50%
南薩	321	206	49	380	304	50	59	18%
川薩	239	187	47	332	295	49	93	39%
出水	154	162	44	169	209	40	15	10%
始良・伊佐	437	177	46	637	273	47	200	46%
曾於	110	119	39	112	149	34	2	1%
肝属	292	171	45	375	252	45	83	28%
熊毛	53	111	38	71	180	37	18	34%
奄美	198	157	43	280	268	46	82	41%
出典	<総医師数2004年>平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成16年12月 <総医師数2020年>令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月							

資_図表 46-32 総病床数(精神科を含む)の推移

二次医療圏	2004年			2020年			2004→2020増減	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	1,812,554	142	(56)	1,593,572	126	(54)	-218,982	-12%
鹿児島県	43,212	246	69	36,866	232	70	-6,346	-15%
鹿児島	17,431	252	70	15,558	233	70	-1,873	-11%
南薩	4,924	316	81	3,972	318	86	-952	-19%
川薩	2,746	214	63	2,277	202	64	-469	-17%
出水	2,000	211	62	1,496	185	61	-504	-25%
始良・伊佐	6,462	262	72	5,716	245	72	-746	-12%
曾於	1,440	156	53	1,121	149	54	-319	-22%
肝属	4,291	252	70	3,372	227	69	-919	-21%
熊毛	804	168	55	605	153	55	-199	-25%
奄美	3,114	246	69	2,749	264	76	-365	-12%
出典	<総病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <総病床数2020年>令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月							

資_図表 46-33 一般病床数(病院+診療所)の推移

二次医療圏	2004年			2020年			2004→2020増減	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	1,068,821	84	(28)	967,030	77	(27)	-101,791	-10%
鹿児島県	20,651	118	62	19,492	123	67	-1,159	-6%
鹿児島	9,014	130	67	8,833	132	71	-181	-2%
南薩	1,888	121	63	1,615	129	70	-273	-14%
川薩	1,365	107	58	1,141	101	59	-224	-16%
出水	928	98	55	695	86	53	-233	-25%
始良・伊佐	2,309	94	54	2,570	110	63	261	11%
曾於	521	56	40	507	68	47	-14	-3%
肝属	2,600	153	75	2,263	152	78	-337	-13%
熊毛	488	102	57	459	116	65	-29	-6%
奄美	1,538	122	64	1,409	135	72	-129	-8%
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2020年>令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月							

資_図表 46-34 療養病床数(病院+診療所)の推移

二次医療圏	2004年			2020年			2004→2020増減	
	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	373,823	32	(18)	296,050	16	(9)	-77,773	-21%
鹿児島県	12,230	56	63	7,876	29	65	-4,354	-36%
鹿児島	4,604	70	71	3,082	32	67	-1,522	-33%
南薩	1,339	51	60	883	33	68	-456	-34%
川薩	791	41	55	556	27	62	-235	-30%
出水	511	38	53	302	19	54	-209	-41%
始良・伊佐	2,392	77	76	1,519	41	77	-873	-36%
曾於	693	50	60	488	31	66	-205	-30%
肝属	988	41	55	452	17	51	-536	-54%
熊毛	144	21	44	11	1	34	-133	-92%
奄美	768	40	54	583	30	66	-185	-24%
出典	<療養病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <療養病床数2020年>令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月							

46-1. かごしま 鹿児島医療圏

構成市区町村 [鹿児島市](#) [日置市](#) [いちき串木野市](#) [三島村](#)
[土島村](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

(鹿児島医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

***人口、面積など：** 鹿児島(鹿児島市)は、総人口約669千人(2020年)、面積1,045km²、人口密度は640人/km²の地方都市型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 鹿児島の総人口は2030年に630千人へと減少し(2020年比-6%)、2045年に558千人へと減少する(2030年比-11%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2020年の97千人が、2030年にかけて127千人へと増加し(2020年比+31%)、2045年には130千人へと減少する(2030年比-11%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 鹿児島の一人当たり医療費(国保)は462千円(偏差値70)、介護給付費は276千円(偏差値54)であり、医療費は非常に高く、介護給付費はやや高い。

【医療の現状】

***医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が68(病院医師数71、診療所医師数56)と、総医師数は非常に多く、病院医師数は非常に多く、診療所医師数は多い。総看護師数の偏差値は76と非常に多い。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は66で、一般病床は非常に多い。全身麻酔数の偏差値は69と非常に多い。鹿児島には、年間全身麻酔件数が2000例以上の鹿児島市立病院(標準群・救命)、鹿児島大学病院(大学本院群・救命)、1000例以上のいまきいれ総合病院(標準群)、米盛病院(標準群)、今村総合病院(標準群)、南風病院(標準群)、NH0鹿児島医療センター(特定群)、500例以上の相良病院(標準群)、鹿児島市医師会病院(標準群)、中央病院(標準群)がある。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は61と療養病床数は多い。

***リハビリの現状：** 療法士総数は偏差値73と非常に多く、回復期病床数は偏差値70と非常に多い。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は62で精神病床数は多い。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は55で診療所数はやや多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 鹿児島の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、10,374人(75歳以上1,000人当たりの偏差値57)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が5,708床(偏差値52)、高齢者住宅等が4,666床(偏差値55)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、8,055人(75歳以上1,000人当たりの偏差値60)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設50、特別養護老人ホーム52、介護療養型医療施設49、介護医療院53、有料老人ホーム44、軽費ホーム49、グループホーム72、サ高住51である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値54とやや多く、在宅療養支援病院は偏差値75と非常に多い。また、訪問看護ステーションは偏差値59と多い。介護職員(在宅)の合計は、1,032人(75歳以上1,000人当たりの偏差値47)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

(鹿児島医療圏) 2. 推移

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

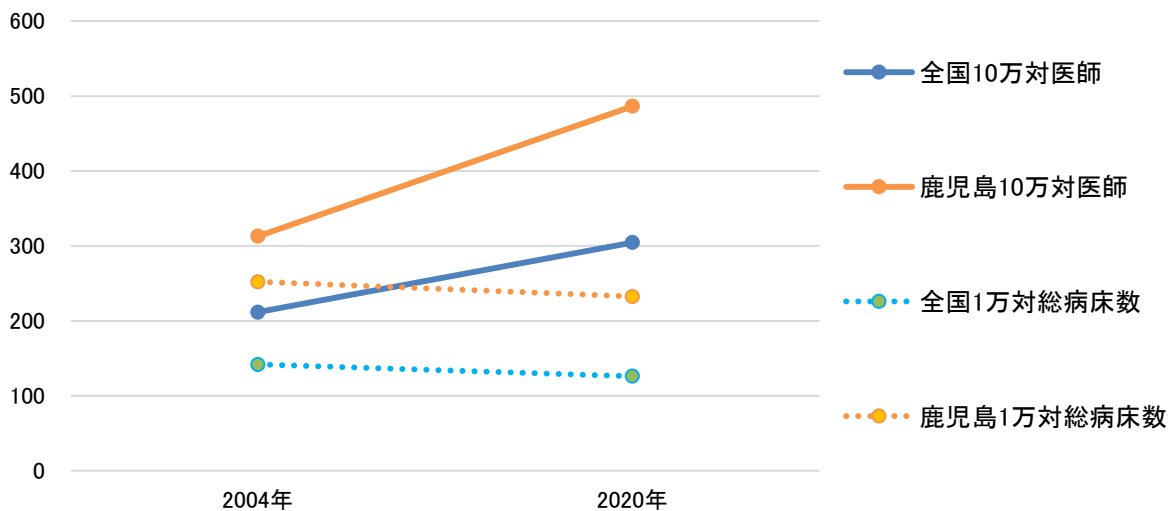
2004年の病院数は122(人口10万人当たり17.7病院(全国平均7.1)偏差値77)であったが、2020年に102(人口10万人当たり15.2病院(全国平均6.5)偏差値71)となり、16年間で20病院が減少した。

2004年の診療所数は586(人口10万人当たり85診療所(全国平均76)偏差値54)であったが、2020年に606(人口10万人当たり91診療所(全国平均81)偏差値55)と、20診療所が増加した。

2004年の総病床数は17,431床(人口1万人当たり252(全国平均142)偏差値70)であったが、2020年に15,558床(人口1万人当たり233(全国平均126)偏差値70)と、1,873床の減少、率にして11%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。

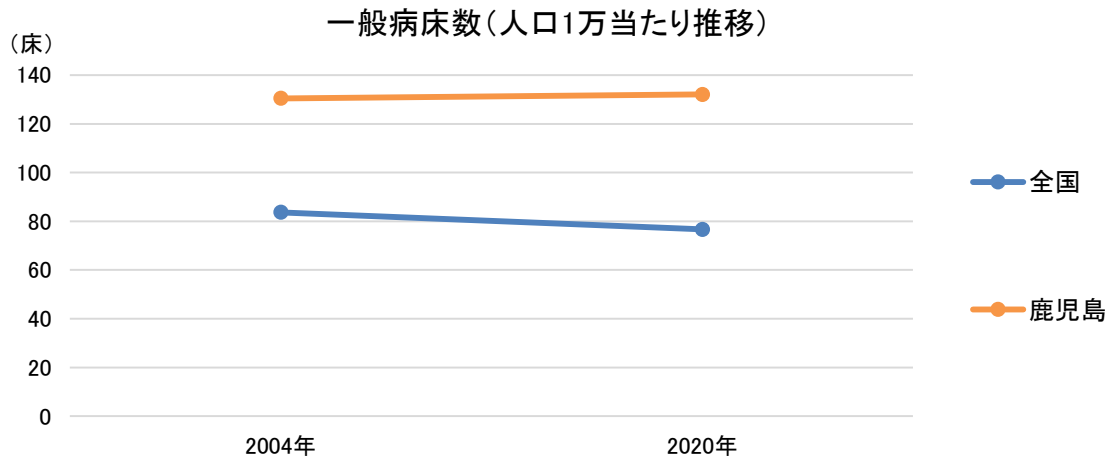
2004年には病院と診療所合わせての総医師数は2,163人(人口10万人当たり313人(全国平均212人)偏差値62)であったが、2020年に3,254人(人口10万人当たり487人(全国平均305人)偏差値68)と、1,091人の増加、率にして50%の増加(全国平均42%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



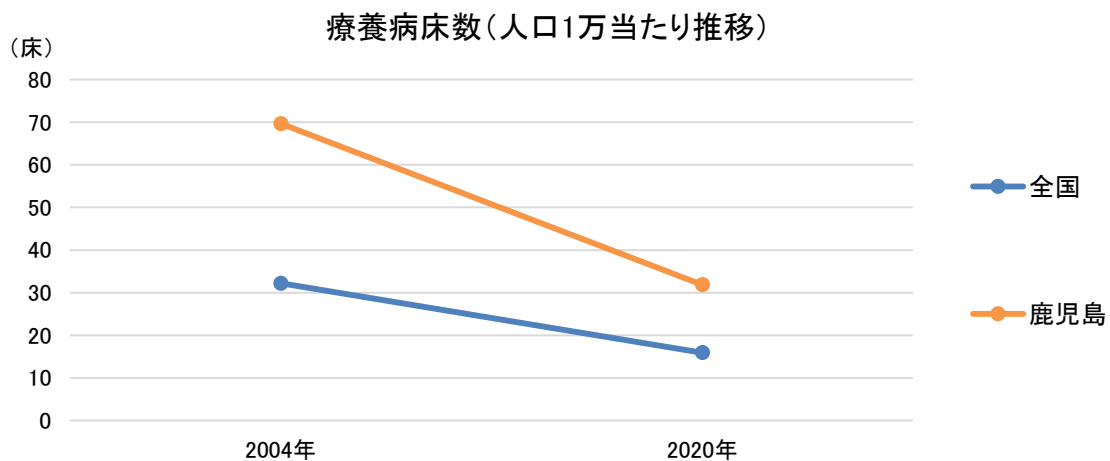
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)は9,014床(人口1万人当たり130(全国平均84)偏差値67)であったが、2020年に8,833床(人口1万人当たり132(全国平均77)偏差値71)と、181床の減少、率にして2%の減少(全国平均10%の減少)が見られた。



【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)は4,604床(75歳以上1,000人当たり70(全国平均32)偏差値71)であったが、2020年に3,082床(75歳以上1,000人当たり32(全国平均16)偏差値67)と、1522床の減少、率にして33%の減少(全国平均21%の減少)が見られた。



46-2. なんさつ南薩医療圏

構成市区町村

[枕崎市](#)

[指宿市](#)

[南さつま市](#)

[南九州市](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

(南薩医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など：南薩(枕崎市)は、総人口約125千人(2020年)、面積865km²、人口密度は145人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測：南薩の総人口は2030年に105千人へと減少し(2020年比-16%)、2045年に76千人へと減少する(2030年比-28%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2020年の27千人が、2030年にかけて29千人へと増加し(2020年比+7%)、2045年には23千人へと減少する(2030年比-28%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費：南薩の一人当たり医療費(国保)は486千円(偏差値75)、介護給付費は311千円(偏差値65)であり、医療費は非常に高く、介護給付費は高い。

【医療の現状】

*医師・看護師の現状：総医師数の偏差値が50(病院医師数50、診療所医師数50)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は78と非常に多い。

*一般病床等の現状：人口当たりの一般病床の偏差値は60で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は40と少ない。南薩には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

*療養病床の現状：人口当たりの療養病床の偏差値は75と療養病床数は非常に多い。

*リハビリの現状：療法士総数は偏差値81と非常に多く、回復期病床数は偏差値69と非常に多い。

*精神病床の現状：人口当たりの精神病床の偏差値は90で精神病床数は非常に多い。

*診療所の現状：人口当たりの診療所数の偏差値は56で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状：南薩の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2,986人(75歳以上1,000人当たりの偏差値59)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が2,291床(偏差値71)、高齢者住宅等が695床(偏差値39)である。介護保険施設は全国平均レベルを大きく上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2,552人(75歳以上1,000人当たりの偏差値69)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設67、特別養護老人ホーム66、介護療養型医療施設なし(偏差値45)、介護医療院63、有料老人ホーム36、軽費ホームなし(偏差値44)、グループホーム61、サ高住39である。

*在宅ケアの現状：在宅療養支援診療所は偏差値46とやや少なく、在宅療養支援病院は偏差値67と非常に多い。また、訪問看護ステーションは偏差値45とやや少ない。介護職員(在宅)の合計は、103人(75歳以上1,000人当たりの偏差値33)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく下回る。

(南薩医療圏) 2. 推移

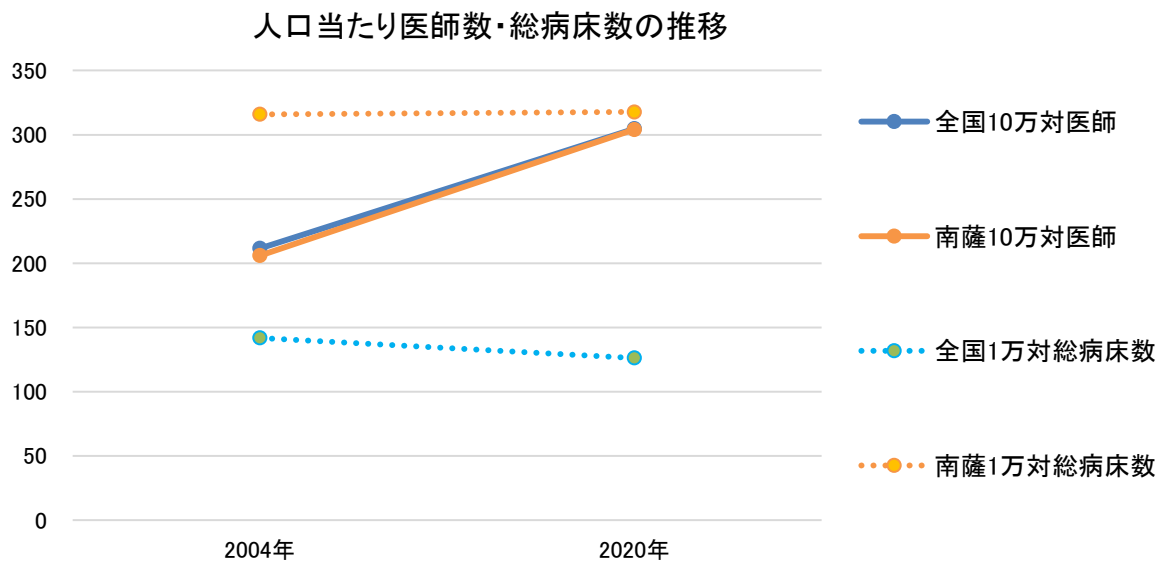
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数は34(人口10万人当たり21.8病院(全国平均7.1)偏差値88)であったが、2020年に30(人口10万人当たり24病院(全国平均6.5)偏差値92)となり、16年間で4病院が減少した。

2004年の診療所数は129(人口10万人当たり83診療所(全国平均76)偏差値53)であったが、2020年に116(人口10万人当たり93診療所(全国平均81)偏差値56)と、13診療所が減少した。

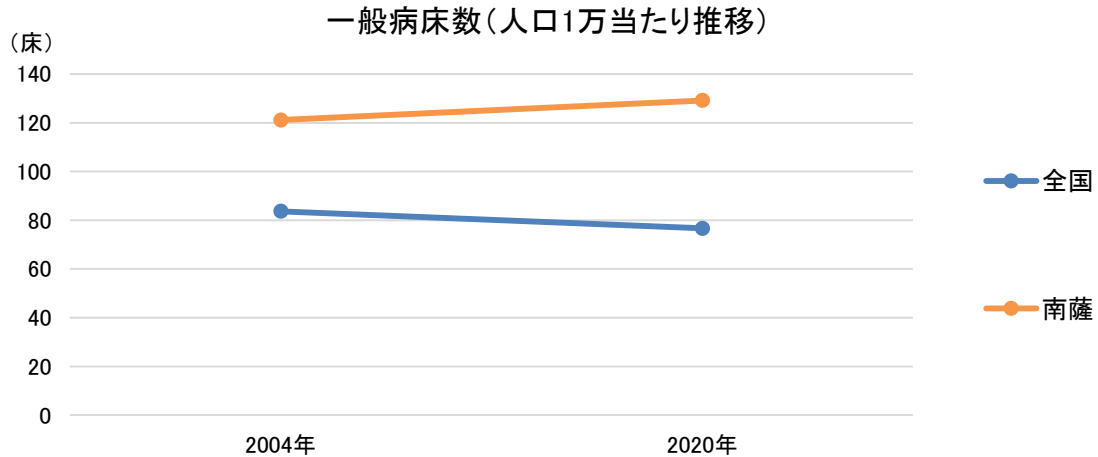
2004年の総病床数は4,924床(人口1万人当たり316(全国平均142)偏差値81)であったが、2020年に3,972床(人口1万人当たり318(全国平均126)偏差値86)と、952床の減少、率にして19%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数は321人(人口10万人当たり206人(全国平均212人)偏差値49)であったが、2020年に380人(人口10万人当たり304人(全国平均305人)偏差値50)と、59人の増加、率にして18%の増加(全国平均42%の増加)が見られた。



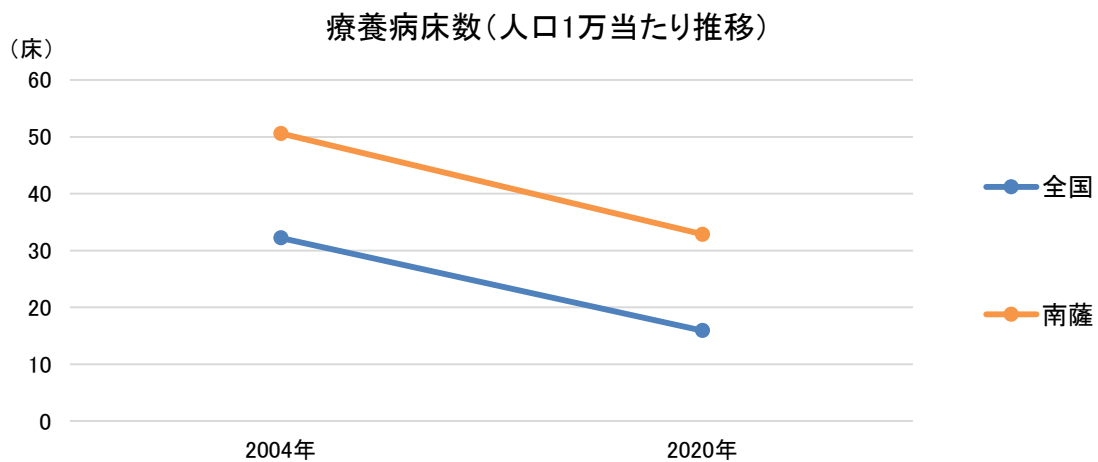
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)は1,888床(人口1万人当たり121(全国平均84)偏差値63)であったが、2020年に1,615床(人口1万人当たり129(全国平均77)偏差値70)と、273床の減少、率にして14%の減少(全国平均10%の減少)が見られた。



【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)は1,339床(75歳以上1,000人当たり51(全国平均32)偏差値60)であったが、2020年に883床(75歳以上1,000人当たり33(全国平均16)偏差値68)と、456床の減少、率にして34%の減少(全国平均21%の減少)が見られた。



46-3. せんさつ 川薩医療圏

構成市区町村 [薩摩川内市](#) [さつま町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

(川薩医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

***人口、面積など：** 川薩(薩摩川内市)は、総人口約113千人(2020年)、面積987km²、人口密度は114人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 川薩の総人口は2030年に101千人へと減少し(2020年比-11%)、2045年に82千人へと減少する(2030年比-19%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2020年の21千人が、2030年にかけて23千人へと増加し(2020年比+10%)、2045年には21千人へと減少する(2030年比-19%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 川薩の一人当たり医療費(国保)は491千円(偏差値76)、介護給付費は302千円(偏差値62)であり、医療費は非常に高く、介護給付費は高い。

【医療の現状】

***医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が49(病院医師数44、診療所医師数61)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は多く、病院医師数は少ない。総看護師数の偏差値は63と多い。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は52で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は46とやや少ない。川薩には、年間全身麻酔件数が500例以上の済生会川内病院(標準群)がある。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は61と療養病床数は多い。

***リハビリの現状：** 療法士総数は偏差値62と多く、回復期病床数は偏差値60と多い。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は61で精神病床数は多い。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は63で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 川薩の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2,398人(75歳以上1,000人当たりの偏差値63)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が1,803床(偏差値73)、高齢者住宅等が595床(偏差値41)である。介護保険施設は全国平均レベルを大きく上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1,973人(75歳以上1,000人当たりの偏差値70)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設64、特別養護老人ホーム74、介護療養型医療施設なし(偏差値45)、介護医療院53、有料老人ホームなし(偏差値35)、軽費ホームなし(偏差値44)、グループホーム66、サ高住41である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値61と多く、在宅療養支援病院は偏差値70と非常に多い。また、訪問看護ステーションは偏差値45とやや少ない。介護職員(在宅)の合計は、111人(75歳以上1,000人当たりの偏差値37)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

(川薩医療圏) 2. 推移

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

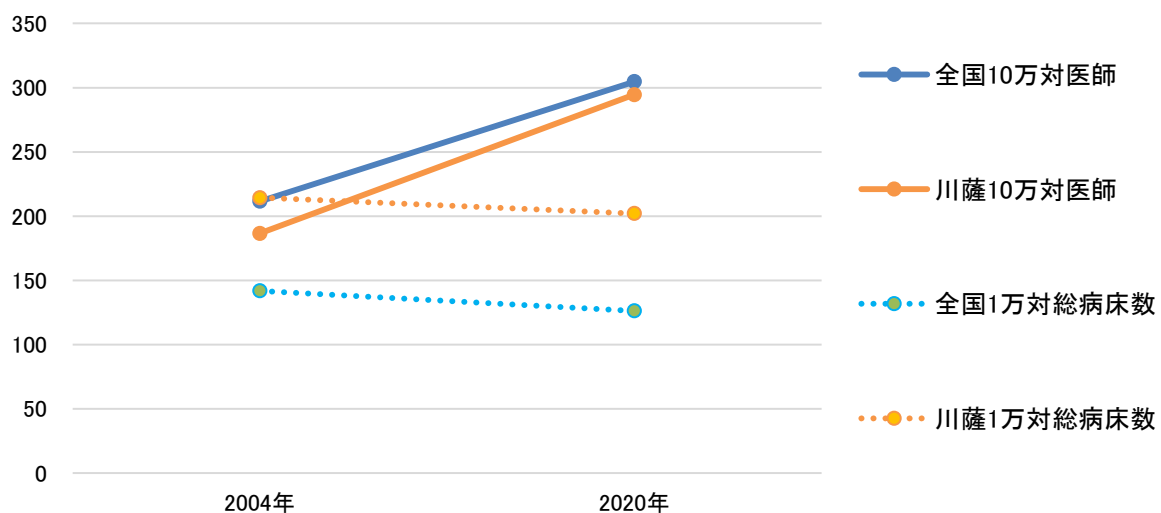
2004年の病院数は21(人口10万人当たり16.4病院(全国平均7.1)偏差値74)であったが、2020年に15(人口10万人当たり13.3病院(全国平均6.5)偏差値66)となり、16年間で6病院が減少した。

2004年の診療所数は122(人口10万人当たり95診療所(全国平均76)偏差値60)であったが、2020年に119(人口10万人当たり106診療所(全国平均81)偏差値63)と、3診療所が減少した。

2004年の総病床数は2,746床(人口1万人当たり214(全国平均142)偏差値63)であったが、2020年に2,277床(人口1万人当たり202(全国平均126)偏差値64)と、469床の減少、率にして17%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。

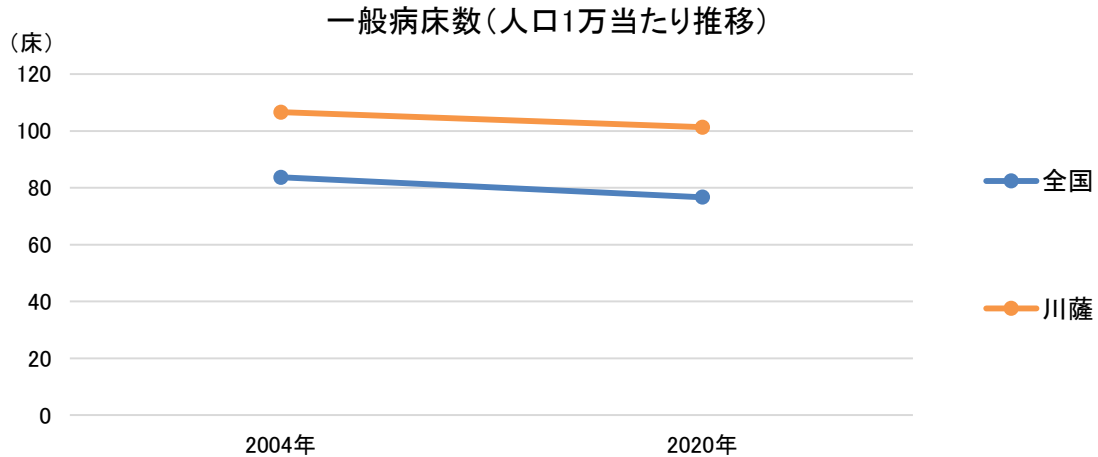
2004年には病院と診療所合わせての総医師数は239人(人口10万人当たり187人(全国平均212人)偏差値47)であったが、2020年に332人(人口10万人当たり295人(全国平均305人)偏差値49)と、93人の増加、率にして39%の増加(全国平均42%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



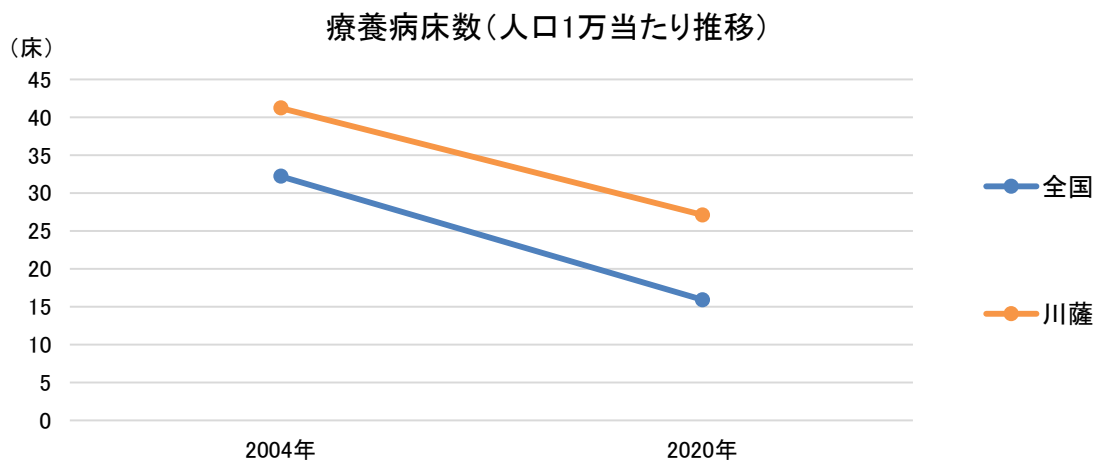
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)は1,365床(人口1万人当たり107(全国平均84)偏差値58)であったが、2020年に1,141床(人口1万人当たり101(全国平均77)偏差値59)と、224床の減少、率にして16%の減少(全国平均10%の減少)が見られた。



【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)は791床(75歳以上1,000人当たり41(全国平均32)偏差値55)であったが、2020年に556床(75歳以上1,000人当たり27(全国平均16)偏差値62)と、235床の減少、率にして30%の減少(全国平均21%の減少)が見られた。



46-4. いずみ 出水医療圏

構成市区町村 [阿久根市](#) [出水市](#) [長島町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

(出水医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 出水(阿久根市)は、総人口約81千人(2020年)、面積580km²、人口密度は139人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 出水の総人口は2030年に70千人へと減少し(2020年比-14%)、2045年に55千人へと減少する(2030年比-21%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2020年の16千人が、2030年にかけて17千人へと増加し(2020年比+6%)、2045年には15千人へと減少する(2030年比-21%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 出水の一人当たり医療費(国保)は487千円(偏差値75)、介護給付費は295千円(偏差値60)であり、医療費は非常に高く、介護給付費は高い。

【医療の現状】

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が40(病院医師数40、診療所医師数43)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は57と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は45で、一般病床はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は44と少ない。出水には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は54と療養病床数はやや多い。

*リハビリの現状： 療法士総数は偏差値61と多く、回復期病床数は偏差値69と非常に多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は66で精神病床数は非常に多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は50で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 出水の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1,649人(75歳以上1,000人当たりの偏差値55)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が1,072床(偏差値59)、高齢者住宅等が577床(偏差値47)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1,178人(75歳以上1,000人当たりの偏差値53)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設57、特別養護老人ホーム57、介護療養型医療施設なし(偏差値45)、介護医療院57、有料老人ホーム43、軽費ホームなし(偏差値44)、グループホーム59、サ高住47である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値60と多く、在宅療養支援病院は偏差値55とやや多い。また、訪問看護ステーションは偏差値53とやや多い。介護職員(在宅)の合計は、124人(75歳以上1,000人当たりの偏差値41)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

(出水医療圏) 2. 推移

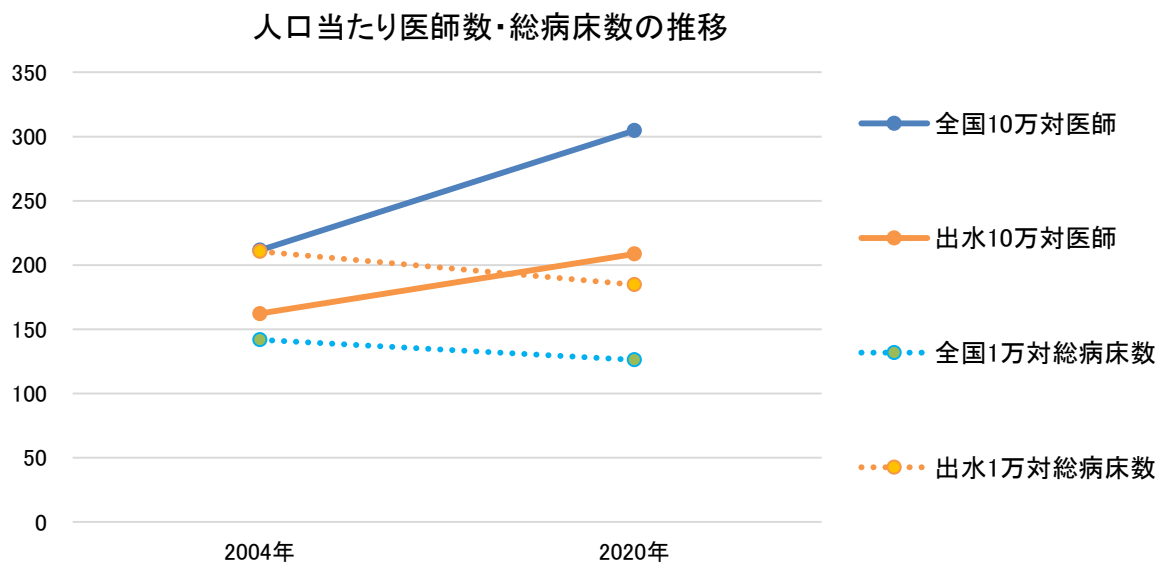
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数は11(人口10万人当たり11.6病院(全国平均7.1)偏差値62)であったが、2020年に8(人口10万人当たり9.9病院(全国平均6.5)偏差値58)となり、16年間で3病院が減少した。

2004年の診療所数は63(人口10万人当たり66診療所(全国平均76)偏差値45)であったが、2020年に66(人口10万人当たり82診療所(全国平均81)偏差値50)と、3診療所が増加した。

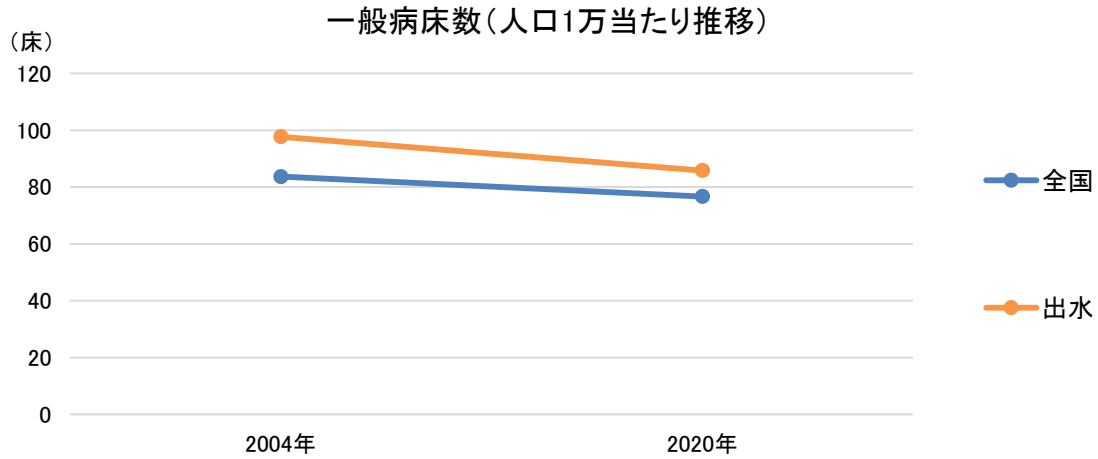
2004年の総病床数は2,000床(人口1万人当たり211(全国平均142)偏差値62)であったが、2020年に1,496床(人口1万人当たり185(全国平均126)偏差値61)と、504床の減少、率にして25%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数は154人(人口10万人当たり162人(全国平均212人)偏差値44)であったが、2020年に169人(人口10万人当たり209人(全国平均305人)偏差値40)と、15人の増加、率にして10%の増加(全国平均42%の増加)が見られた。



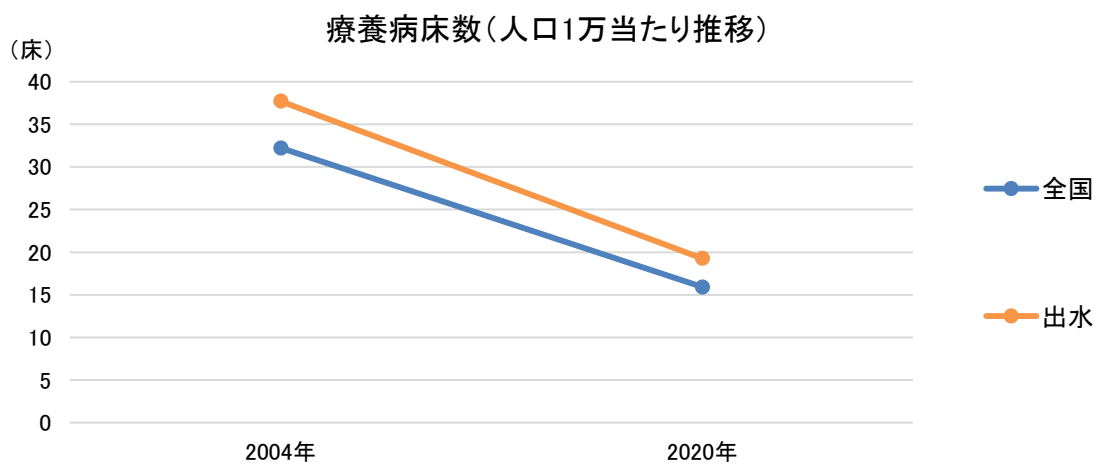
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)は928床(人口1万人当たり98(全国平均84)偏差値55)であったが、2020年に695床(人口1万人当たり86(全国平均77)偏差値53)と、233床の減少、率にして25%の減少(全国平均10%の減少)が見られた。



【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)は511床(75歳以上1,000人当たり38(全国平均32)偏差値53)であったが、2020年に302床(75歳以上1,000人当たり19(全国平均16)偏差値54)と、209床の減少、率にして41%の減少(全国平均21%の減少)が見られた。



46-5. ^あ^い^ら^い^さ始良・伊佐医療圏

構成市区町村

[霧島市](#)

[伊佐市](#)

[始良市](#)

[湧水町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

(始良・伊佐医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 始良・伊佐(霧島市)は、総人口約233千人(2020年)、面積1,371km²、人口密度は170人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 始良・伊佐の総人口は2030年に214千人へと減少し(2020年比-8%)、2045年に186千人へと減少する(2030年比-13%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2020年の38千人が、2030年にかけて47千人へと増加し(2020年比+24%)、2045年には46千人へと減少する(2030年比-13%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 始良・伊佐の一人当たり医療費(国保)は473千円(偏差値72)、介護給付費は262千円(偏差値50)であり、医療費は非常に高く、介護給付費は全国平均レベルである。

【医療の現状】

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が47(病院医師数47、診療所医師数47)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は64と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は56で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は41と少ない。始良・伊佐には、年間全身麻酔件数が500例以上の霧島市立医師会医療センター(標準群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は70と療養病床数は非常に多い。

*リハビリの現状： 療法士総数は偏差値73と非常に多く、回復期病床数は偏差値61と多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は70で精神病床数は非常に多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は50で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 始良・伊佐の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、3,641人(75歳以上1,000人当たりの偏差値50)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が2,343床(偏差値55)、高齢者住宅等が1,298床(偏差値45)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2,925人(75歳以上1,000人当たりの偏差値55)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設55、特別養護老人ホーム50、介護療養型医療施設51、介護医療院59、有料老人ホーム42、軽費ホームなし(偏差値44)、グループホーム65、サ高住41である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値65と多く、在宅療養支援病院は偏差値63と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値55とやや多い。介護職員(在宅)の合計は、223人(75歳以上1,000人当たりの偏差値38)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

(始良・伊佐医療圏) 2. 推移

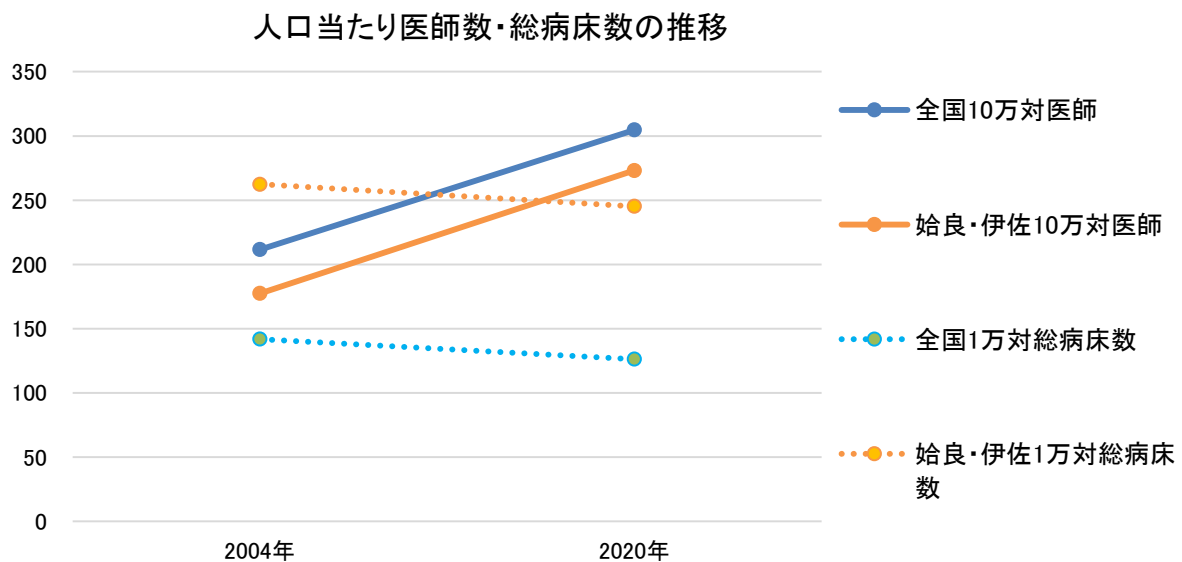
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数は34(人口10万人当たり13.8病院(全国平均7.1)偏差値67)であったが、2020年に33(人口10万人当たり14.2病院(全国平均6.5)偏差値68)となり、16年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数は180(人口10万人当たり73診療所(全国平均76)偏差値49)であったが、2020年に190(人口10万人当たり82診療所(全国平均81)偏差値50)と、10診療所が増加した。

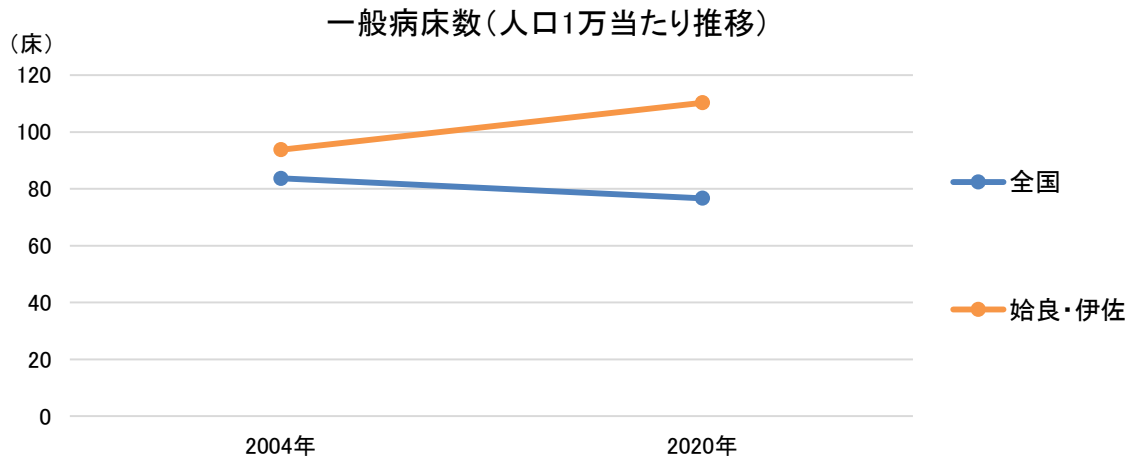
2004年の総病床数は6,462床(人口1万人当たり262(全国平均142)偏差値72)であったが、2020年に5,716床(人口1万人当たり245(全国平均126)偏差値72)と、746床の減少、率にして12%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数は437人(人口10万人当たり177人(全国平均212人)偏差値46)であったが、2020年に637人(人口10万人当たり273人(全国平均305人)偏差値47)と、200人の増加、率にして46%の増加(全国平均42%の増加)が見られた。



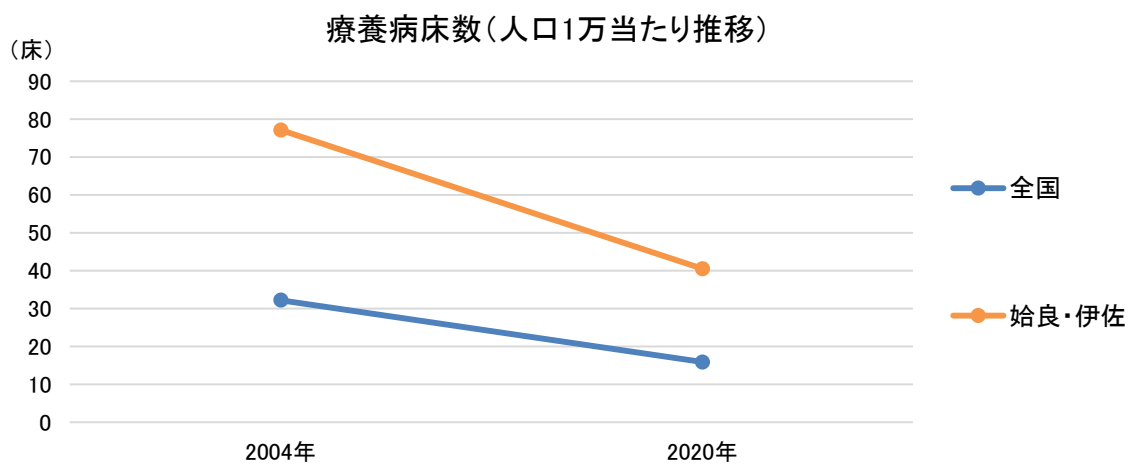
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)は2,309床(人口1万人当たり94(全国平均84)偏差値54)であったが、2020年に2,570床(人口1万人当たり110(全国平均77)偏差値63)と、261床の増加、率にして11%の増加(全国平均10%の減少)が見られた。



【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)は2,392床(75歳以上1,000人当たり77(全国平均32)偏差値76)であったが、2020年に1,519床(75歳以上1,000人当たり41(全国平均16)偏差値77)と、873床の減少、率にして36%の減少(全国平均21%の減少)が見られた。



46-6. ^そ曾^お於医療圏

構成市区町村 [曾於市](#) [志布志市](#) [大崎町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

(曾於医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 曾於(曾於市)は、総人口約75千人(2020年)、面積781km²、人口密度は96人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 曾於の総人口は2030年に64千人へと減少し(2020年比-15%)、2045年に48千人へと減少する(2030年比-25%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2020年の16千人が、2030年にかけて17千人へと増加し(2020年比+6%)、2045年には14千人へと減少する(2030年比-25%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 曾於の一人当たり医療費(国保)は439千円(偏差値65)、介護給付費は318千円(偏差値67)であり、医療費は高く、介護給付費は非常に高い。

【医療の現状】

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が34(病院医師数35、診療所医師数38)と、総医師数は非常に少なく、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は49と全国平均レベルである。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は42で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は33と非常に少ない。曾於には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は70と療養病床数は非常に多い。

*リハビリの現状： 療法士総数は偏差値47とやや少なく、回復期病床数は偏差値41と少ない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は46で精神病床数はやや少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は44で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 曾於の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1,847人(75歳以上1,000人当たりの偏差値63)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が1,314床(偏差値70)、高齢者住宅等が533床(偏差値44)である。介護保険施設は全国平均レベルを大きく上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1,516人(75歳以上1,000人当たりの偏差値70)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設66、特別養護老人ホーム63、介護療養型医療施設54、介護医療院59、有料老人ホーム48、軽費ホームなし(偏差値44)、グループホーム65、サ高住31である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値39と少なく、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値43と少ない。介護職員(在宅)の合計は、73人(75歳以上1,000人当たりの偏差値35)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

(曾於医療圏) 2. 推移

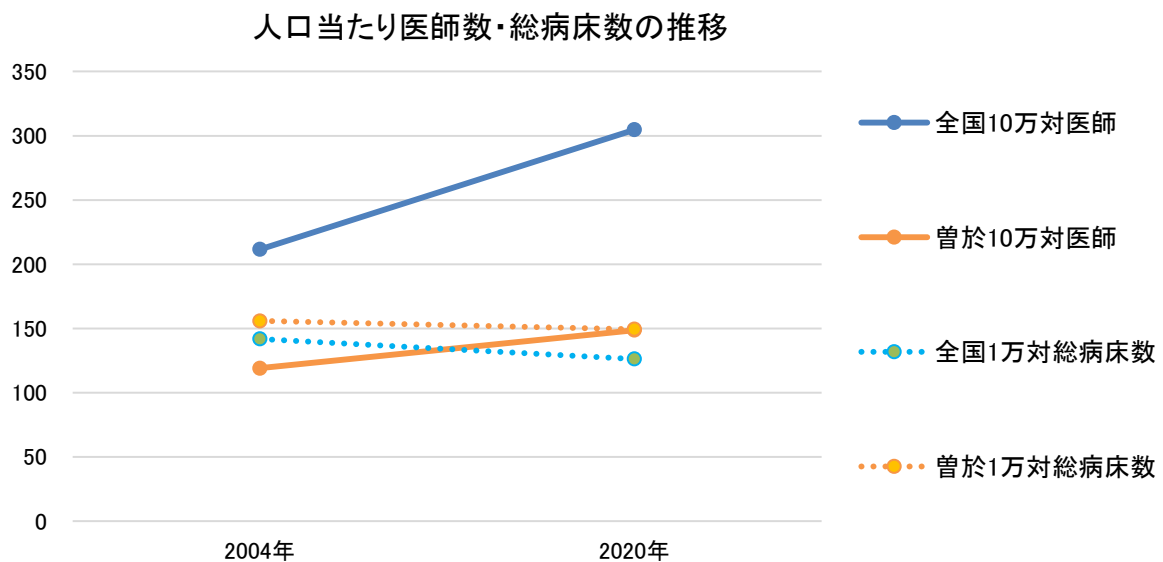
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数は12(人口10万人当たり13病院(全国平均7.1)偏差値65)であったが、2020年に9(人口10万人当たり12病院(全国平均6.5)偏差値63)となり、16年間で3病院が減少した。

2004年の診療所数は64(人口10万人当たり69診療所(全国平均76)偏差値47)であったが、2020年に52(人口10万人当たり69診療所(全国平均81)偏差値44)と、12診療所が減少した。

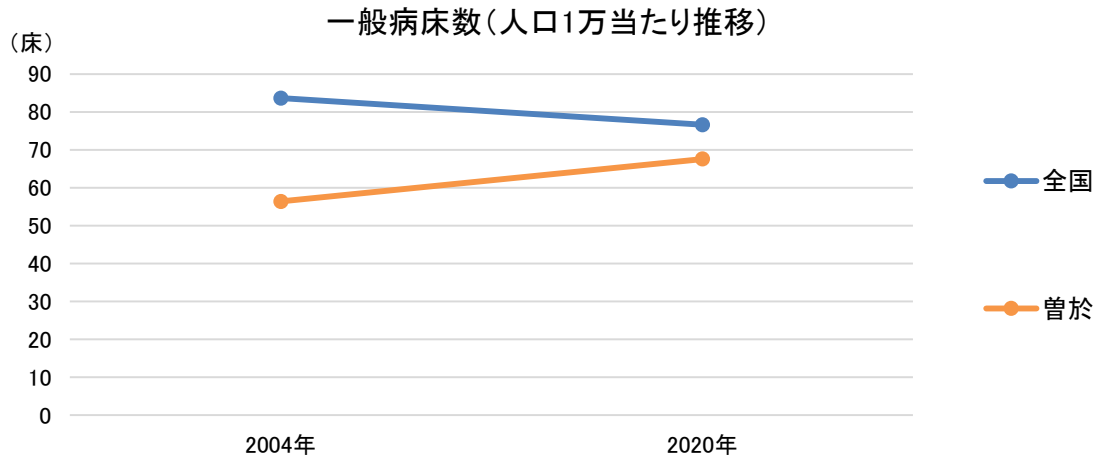
2004年の総病床数は1,440床(人口1万人当たり156(全国平均142)偏差値53)であったが、2020年に1,121床(人口1万人当たり149(全国平均126)偏差値54)と、319床の減少、率にして22%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数は110人(人口10万人当たり119人(全国平均212人)偏差値39)であったが、2020年に112人(人口10万人当たり149人(全国平均305人)偏差値34)と、2人の増加、率にして1%の増加(全国平均42%の増加)が見られた。



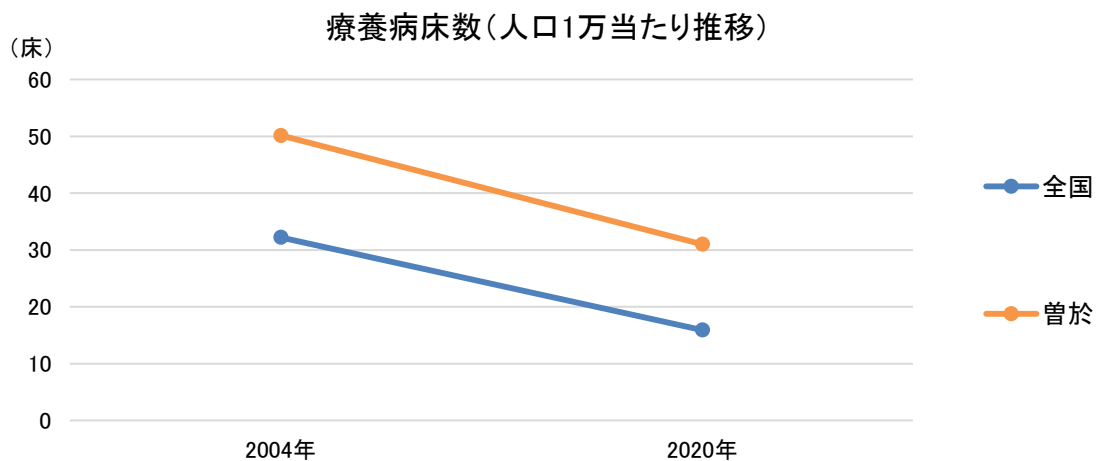
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)は521床(人口1万人当たり56(全国平均84)偏差値40)であったが、2020年に507床(人口1万人当たり68(全国平均77)偏差値47)と、14床の減少、率にして3%の減少(全国平均10%の減少)が見られた。



【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)は693床(75歳以上1,000人当たり50(全国平均32)偏差値60)であったが、2020年に488床(75歳以上1,000人当たり31(全国平均16)偏差値66)と、205床の減少、率にして30%の減少(全国平均21%の減少)が見られた。



46-7. ^{きもつき}肝属医療圏

構成市区町村 [鹿屋市](#) [垂水市](#) [東串良町](#) [錦江町](#)
[南大隅町](#) [肝付町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

(肝属医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 肝属(鹿屋市)は、総人口約149千人(2020年)、面積1,323km²、人口密度は112人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 肝属の総人口は2030年に131千人へと減少し(2020年比-12%)、2045年に106千人へと減少する(2030年比-19%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2020年の27千人が、2030年にかけて31千人へと増加し(2020年比+15%)、2045年には28千人へと減少する(2030年比-19%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 肝属の一人当たり医療費(国保)は419千円(偏差値60)、介護給付費は324千円(偏差値69)であり、医療費は高く、介護給付費は非常に高い。

【医療の現状】

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が45(病院医師数46、診療所医師数43)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は67と非常に多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は72で、一般病床は非常に多い。全身麻酔数の偏差値は42と少ない。肝属には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は53と療養病床数はやや多い。

*リハビリの現状： 療法士総数は偏差値71と非常に多く、回復期病床数は偏差値58と多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は58で精神病床数は多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は47で診療所数はやや少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 肝属の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2,695人(75歳以上1,000人当たりの偏差値51)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が1,781床(偏差値57)、高齢者住宅等が914床(偏差値44)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2,597人(75歳以上1,000人当たりの偏差値69)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設53、特別養護老人ホーム56、介護療養型医療施設なし(偏差値45)、介護医療院59、有料老人ホーム38、軽費ホームなし(偏差値44)、グループホーム77、サ高住34である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値54とやや多く、在宅療養支援病院は偏差値52と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値52と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、260人(75歳以上1,000人当たりの偏差値45)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

(肝属医療圏) 2. 推移

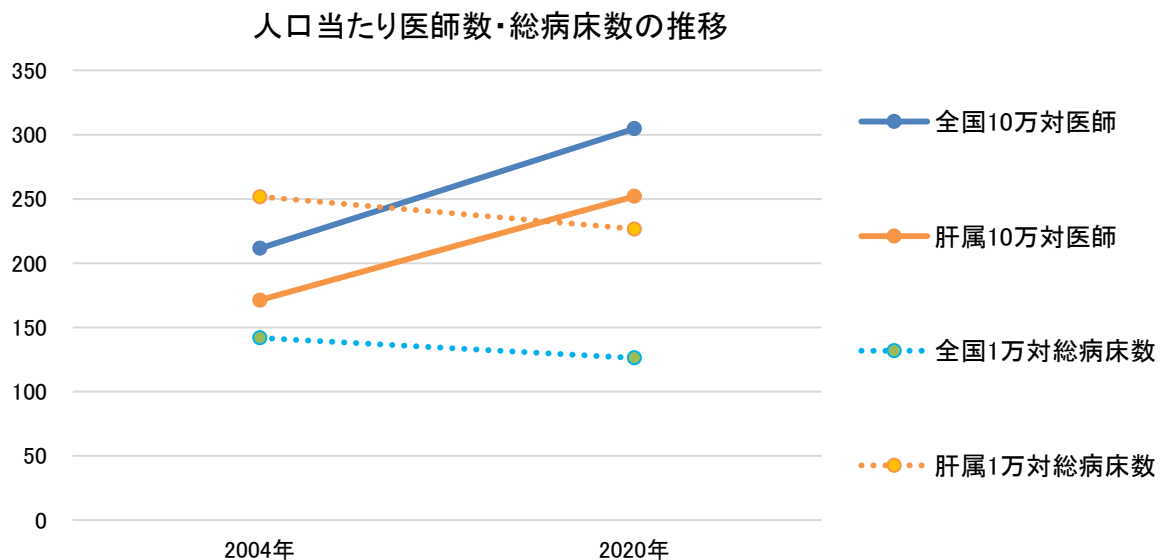
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数は26(人口10万人当たり15.3病院(全国平均7.1)偏差値71)であったが、2020年に18(人口10万人当たり12.1病院(全国平均6.5)偏差値63)となり、16年間で8病院が減少した。

2004年の診療所数は129(人口10万人当たり76診療所(全国平均76)偏差値50)であったが、2020年に113(人口10万人当たり76診療所(全国平均81)偏差値47)と、16診療所が減少した。

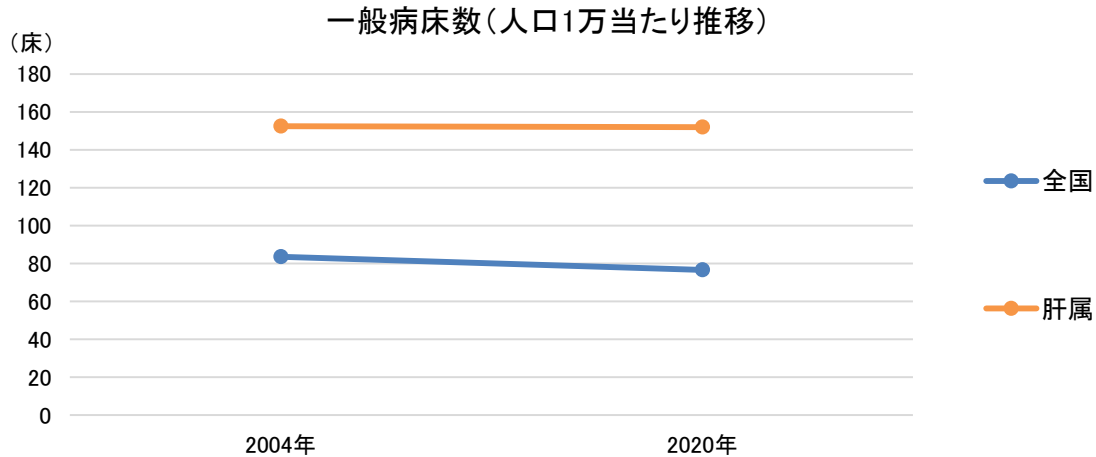
2004年の総病床数は4,291床(人口1万人当たり252(全国平均142)偏差値70)であったが、2020年に3,372床(人口1万人当たり227(全国平均126)偏差値69)と、919床の減少、率にして21%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数は292人(人口10万人当たり171人(全国平均212人)偏差値45)であったが、2020年に375人(人口10万人当たり252人(全国平均305人)偏差値45)と、83人の増加、率にして28%の増加(全国平均42%の増加)が見られた。



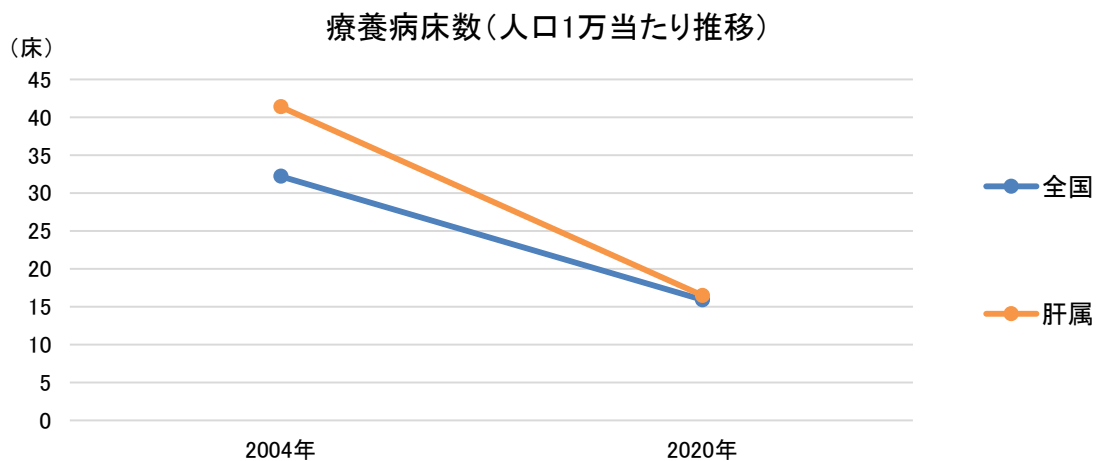
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)は2,600床(人口1万人当たり153(全国平均84)偏差値75)であったが、2020年に2,263床(人口1万人当たり152(全国平均77)偏差値78)と、337床の減少、率にして13%の減少(全国平均10%の減少)が見られた。



【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)は988床(75歳以上1,000人当たり41(全国平均32)偏差値55)であったが、2020年に452床(75歳以上1,000人当たり17(全国平均16)偏差値51)と、536床の減少、率にして54%の減少(全国平均21%の減少)が見られた。



46-8. ^{くまげ}熊毛医療圏

構成市区町村

[西之表市](#)

[中種子町](#)

[南種子町](#)

[屋久島町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

(熊毛医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など：熊毛(西之表市)は、総人口約40千人(2020年)、面積994km²、人口密度は40人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測：熊毛の総人口は2030年に34千人へと減少し(2020年比-15%)、2045年に26千人へと減少する(2030年比-24%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2020年の8千人が、2030年にかけて9千人へと増加し(2020年比+13%)、2045年には8千人へと減少する(2030年比-24%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費：熊毛の一人当たり医療費(国保)は377千円(偏差値51)、介護給付費は284千円(偏差値56)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費は高い。

【医療の現状】

*医師・看護師の現状：総医師数の偏差値が37(病院医師数42、診療所医師数32)と、総医師数、病院医師数はともに少なく、診療所医師数は非常に少ない。総看護師数の偏差値は53とやや多い。

*一般病床等の現状：人口当たりの一般病床の偏差値は64で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は36と少ない。熊毛には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

*療養病床の現状：療養病床は0である。

*リハビリの現状：療法士総数は偏差値63と多く、回復期病床数は偏差値60と多い。

*精神病床の現状：人口当たりの精神病床の偏差値は53で精神病床数はやや多い。

*診療所の現状：人口当たりの診療所数の偏差値は39で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状：熊毛の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、646人(75歳以上1,000人当たりの偏差値40)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が516床(偏差値57)、高齢者住宅等が130床(偏差値32)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、717人(75歳以上1,000人当たりの偏差値66)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設39、特別養護老人ホーム70、介護療養型医療施設なし(偏差値45)、介護医療院なし(偏差値44)、有料老人ホームなし(偏差値35)、軽費ホームなし(偏差値44)、グループホーム56、サ高住31である。

*在宅ケアの現状：在宅療養支援診療所は偏差値42と少なく、在宅療養支援病院は偏差値55とやや多い。また、訪問看護ステーションは偏差値50と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、82人(75歳以上1,000人当たりの偏差値46)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

(熊毛医療圏) 2. 推移

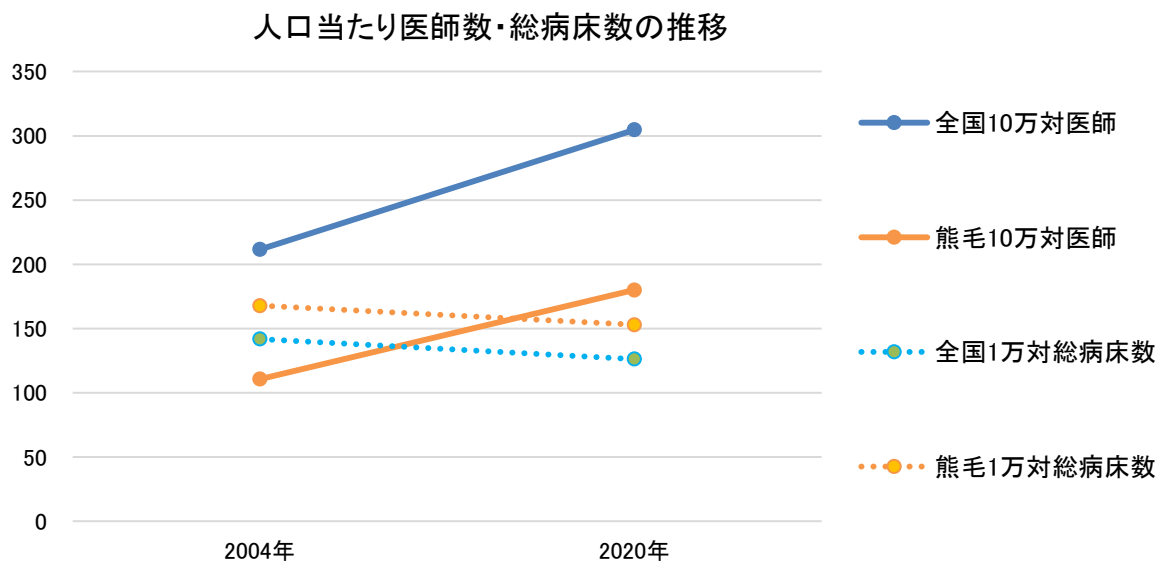
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数は5(人口10万人当たり10.4病院(全国平均7.1)偏差値59)であったが、2020年に4(人口10万人当たり10.1病院(全国平均6.5)偏差値59)となり、16年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数は23(人口10万人当たり48診療所(全国平均76)偏差値36)であったが、2020年に24(人口10万人当たり61診療所(全国平均81)偏差値39)と、1診療所が増加した。

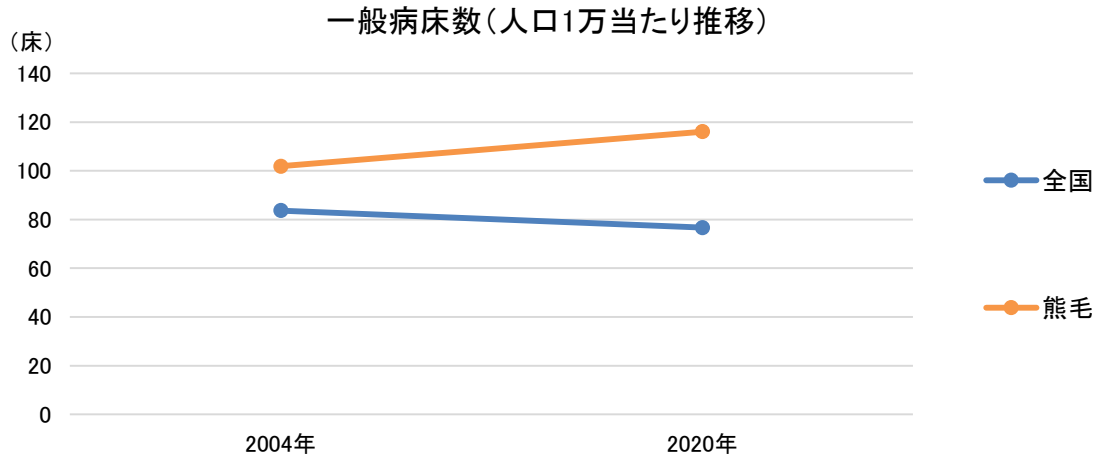
2004年の総病床数は804床(人口1万人当たり168(全国平均142)偏差値55)であったが、2020年に605床(人口1万人当たり153(全国平均126)偏差値55)と、199床の減少、率にして25%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数は53人(人口10万人当たり111人(全国平均212人)偏差値38)であったが、2020年に71人(人口10万人当たり180人(全国平均305人)偏差値37)と、18人の増加、率にして34%の増加(全国平均42%の増加)が見られた。



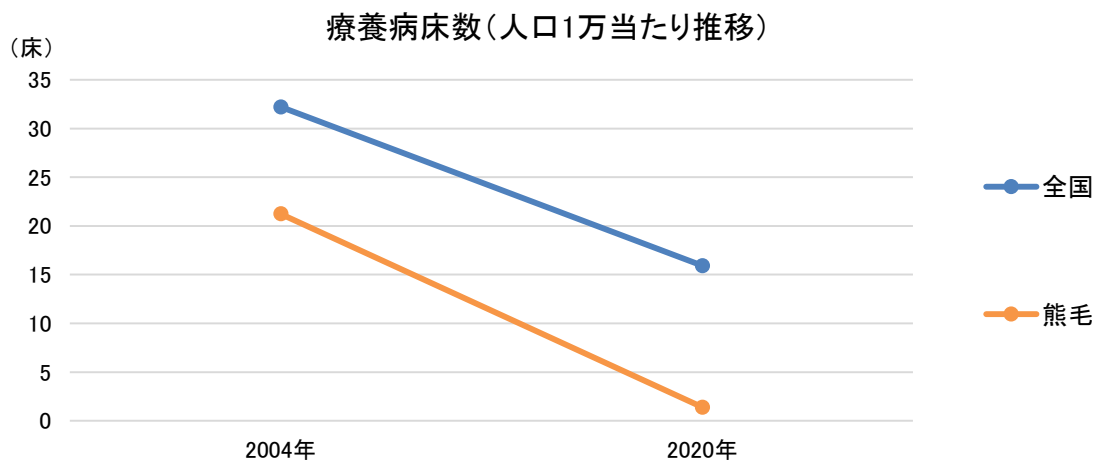
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)は488床(人口1万人当たり102(全国平均84)偏差値57)であったが、2020年に459床(人口1万人当たり116(全国平均77)偏差値65)と、29床の減少、率にして6%の減少(全国平均10%の減少)が見られた。



【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)は144床(75歳以上1,000人当たり21(全国平均32)偏差値44)であったが、2020年に11床(75歳以上1,000人当たり1(全国平均16)偏差値34)と、133床の減少、率にして92%の減少(全国平均21%の減少)が見られた。



46-9. あまみ奄美医療圏

構成市区町村	奄美市	大和村	宇検村	瀬戸内町
	龍郷町	喜界町	徳之島町	天城町
	伊仙町	和泊町	知名町	与論町

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

(奄美医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 奄美(奄美市)は、総人口約104千人(2020年)、面積1,240km²、人口密度は84人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 奄美の総人口は2030年に88千人へと減少し(2020年比-15%)、2045年に67千人へと減少する(2030年比-24%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2020年の19千人が、2030年にかけて22千人へと増加し(2020年比+16%)、2045年には20千人へと減少する(2030年比-24%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 奄美の一人当たり医療費(国保)は365千円(偏差値49)、介護給付費は295千円(偏差値60)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費は高い。

【医療の現状】

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が46(病院医師数50、診療所医師数39)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は62と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は68で、一般病床は非常に多い。全身麻酔数の偏差値は45とやや少ない。奄美には、年間全身麻酔件数が500例以上の県立大島病院(標準群・救命)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は66と療養病床数は非常に多い。

*リハビリの現状： 療法士総数は偏差値53とやや多く、回復期病床数は偏差値49と全国平均レベルである。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は70で精神病床数は非常に多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は49で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 奄美の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2,295人(75歳以上1,000人当たりの偏差値65)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が1,766床(偏差値76)、高齢者住宅等が529床(偏差値40)である。介護保険施設は全国平均レベルを大きく上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2,017人(75歳以上1,000人当たりの偏差値77)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設71、特別養護老人ホーム74、介護療養型医療施設53、介護医療院47、有料老人ホーム45、軽費ホームなし(偏差値44)、グループホーム57、サ高住34である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値57と多く、在宅療養支援病院は偏差値93と非常に多い。また、訪問看護ステーションは偏差値59と多い。介護職員(在宅)の合計は、252人(75歳以上1,000人当たりの偏差値52)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

(奄美医療圏) 2. 推移

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

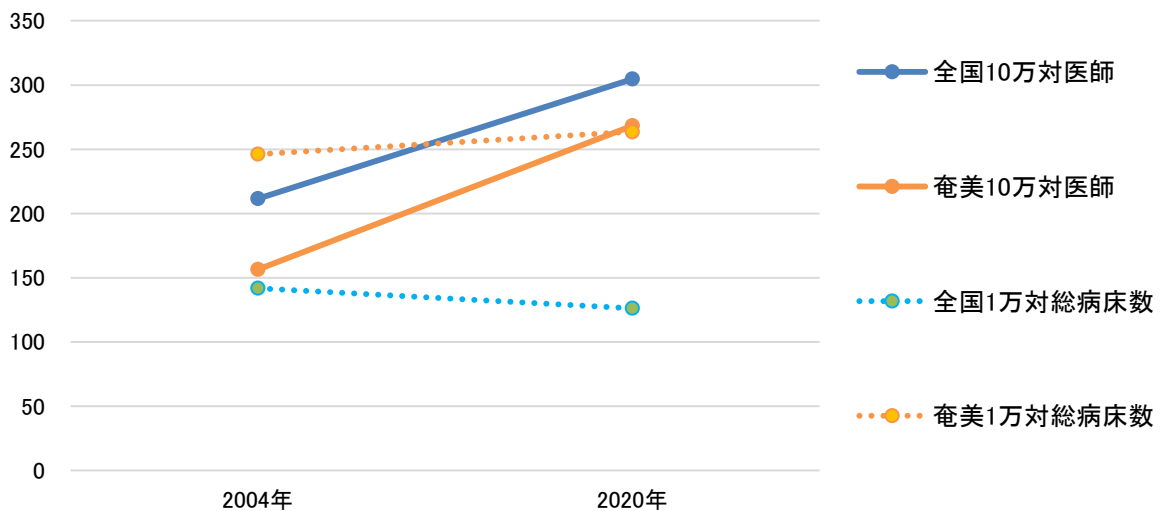
2004年の病院数は16(人口10万人当たり12.6病院(全国平均7.1)偏差値64)であったが、2020年に15(人口10万人当たり14.4病院(全国平均6.5)偏差値69)となり、16年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数は101(人口10万人当たり80診療所(全国平均76)偏差値52)であったが、2020年に82(人口10万人当たり79診療所(全国平均81)偏差値49)と、19診療所が減少した。

2004年の総病床数は3,114床(人口1万人当たり246(全国平均142)偏差値69)であったが、2020年に2,749床(人口1万人当たり264(全国平均126)偏差値76)と、365床の減少、率にして12%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。

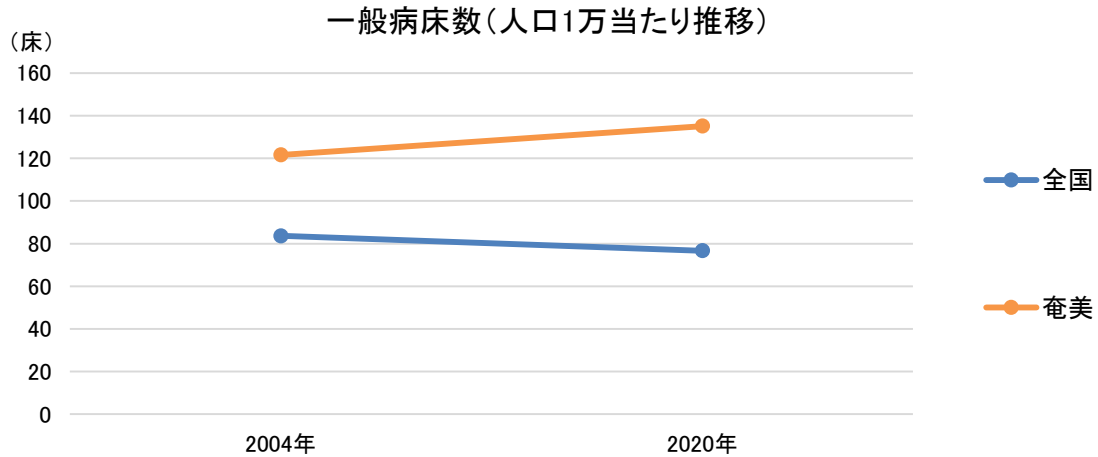
2004年には病院と診療所合わせての総医師数は198人(人口10万人当たり157人(全国平均212人)偏差値43)であったが、2020年に280人(人口10万人当たり268人(全国平均305人)偏差値46)と、82人の増加、率にして41%の増加(全国平均42%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)は1,538床(人口1万人当たり122(全国平均84)偏差値64)であったが、2020年に1,409床(人口1万人当たり135(全国平均77)偏差値72)と、129床の減少、率にして8%の減少(全国平均10%の減少)が見られた。



【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)は768床(75歳以上1,000人当たり40(全国平均32)偏差値54)であったが、2020年に583床(75歳以上1,000人当たり30(全国平均16)偏差値66)と、185床の減少、率にして24%の減少(全国平均21%の減少)が見られた。

